



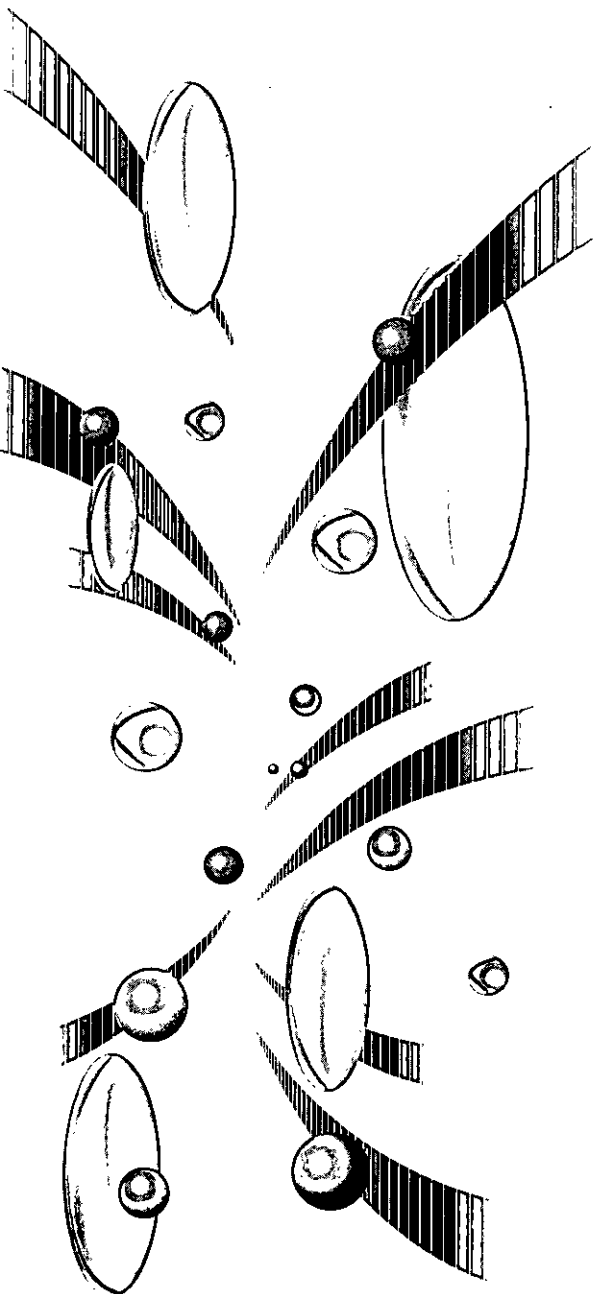
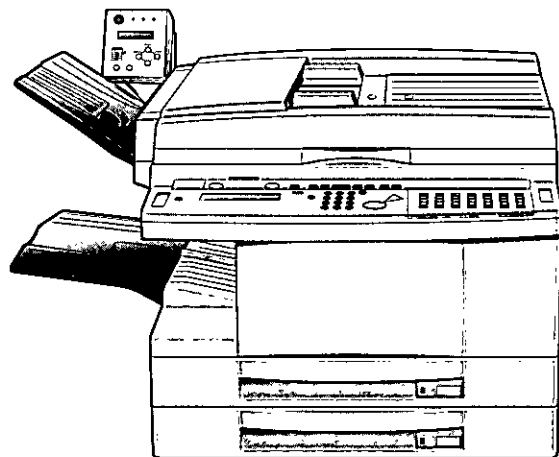
NTTFAX D-60

PCプリンタユニット

— ユーザーズガイド —

このたびはNTTFAX D-60 PCプリンタユニットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「ユーザーズガイド」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お使いになったあとも、本機のそばなどいつも手もとにおいてお使いください。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、NTT窓口等でお求めください。

本書中のマーク説明



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



- 操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。



- 操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

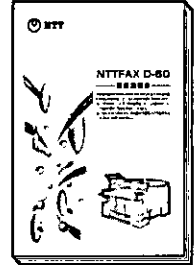
- 本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の設置や配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもとになりますので絶対におやめください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

マニュアルの構成について

本機には、次のようなマニュアルが用意されています。目的に応じてマニュアルをお読みいただき、本機を十分にご活用ください。また、マニュアルはお読みいただいた後も、大切に保管しておいてください。

電源の入れかたを知りたい
保守や点検の方法を知りたい等

NTTFAX D-60
取扱説明書



プリンタ機能を使う準備をしたい
困ったときには

ユーザズガイド
(本書)



プリンタドライバをインストールしたい
印刷したい

インストールガイド



より詳しく知りたい

プリンタ機能ガイド

プリンタユニット操作パネルによるメニュー機能の使いかたなどを解説しています。プリンタ機能に関するリファレンス的なマニュアルです。



ユーザーズガイドの使いかた

第1章

お使いになる前に

必ずお読みください

本機を使用する前に必要な準備や注意事項を説明しています。

1

第2章

プリンタ機能の使いかた

必ずお読みください

プリンタ機能の設定方法や基本的なプリント操作について説明しています。

2

第3章

困ったときには

必要に応じてお読みください

紙づまりが起こったときなどトラブルが起こったときの対処方法について説明しています。

3

付録

必要に応じてお読みください

オプション品の紹介や、仕様、用語集、索引をまとめています。

付録

本書の読みかた

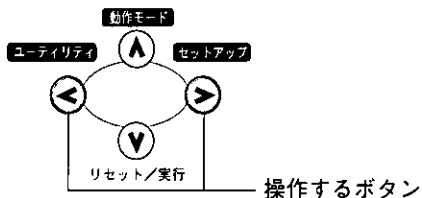
ボタンの表記について

本書の説明文中で、本体とプリンタユニットの操作パネルのボタンや画面上のボタンを表すときは、ボタンの名称を [] で囲んでいます。

例) [オンライン]:「オンライン」の表示があるボタンを表しています。

イラスト内のボタンやランプ表示について

本書の説明文中に使用しているプリンタユニット操作パネルのイラストで、ランプの状態は次のように表しています。



メッセージ

ジョブ



ランプ点灯



メッセージ

ジョブ



ランプ点滅

略称について

本書では Microsoft® Windows® を Windows と記述しています。

操作手順について

本書の説明で、手順通りに操作していただきたいところには番号を表示しています。必ず番号順に操作をしてください。
イラストや画面例左側には、具体的な操作方法や操作の結果を説明しています。

1

「オンライン」ボタンを押して、オンラインランプを点灯します。
プリントできる状態になります。

操作の結果や補足説明
操作説明
手順番号

オンライン
印刷可 メッセージ ジョブ

00 インサツ カノウ A4

ディスプレイの表示について

操作の説明で、ディスプレイの表示と連動するところには、ディスプレイの画面例を表示しています。

3

「<」、 「>」 ボタンで「キューシ」を表示し、「V」 ボタンを押します。

操作するボタン

動作モード
ユーティリティ セットアップ
リセット/実行

セットアップ
キューシ →

キューシ
トレイ ヨウシ サイズ →

ディスプレイの画面例：操作例→操作結果



安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書中のマーク説明
 マニュアルの構成について
 ユーザーズガイドの使いかた
 本書の読みかた

第1章 お使いになる前に

各部の名称と機能（プリンタ関連）	8
プリンタユニット操作パネル	8
本体操作パネル	10
[プリンタリスタート] ボタン	11
インタフェース接続部	11
パソコンと接続する	12
DOS/Windows パソコンとの接続	12
ネットワークとの接続	13
動作を確認する	16
ソフトウェアをインストールする	18
Windows の場合	18
DOS の場合	19
ネットワークに接続している場合	19

第2章 プリンタ機能の使いかた

オンラインとオフライン	22
オンラインにする	22
オフラインにする	23
プリンタ機能について	24
代表的な機能	24
設定のしかた	25
設定の優先順位	25
ファクス・コピー機能と同時に使うとき	26
使用できる機能の組み合わせ	26
プリントモードについて	27
プリントモードの種類	27
プリントモードを設定する	28
動作モードについて	30
動作モードの種類	30
自動切り替えがうまくできないとき	31
専用プリンタと同じ動作で使う（動作モード固定）	31
エミュレーションモードで使うとき	32

給紙元を選択する.....	34
給紙元の種類.....	34
給紙元を選択.....	35
手差しトレイの用紙サイズを変更する.....	37
プリントできる範囲.....	39

第3章 困ったときには

トラブル解決マップ.....	42
紙づまりが起こったときは（紙づまりの除去）.....	44
つまっている用紙を取り除く.....	44
プリントを途中で中止したいときは.....	46
データを排出する（強制排出）.....	46
現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）.....	47
すべての作業を中止する（ハードリセット）.....	48
プリンタ機能を再起動する（プリンタリスタート）.....	49
メッセージが表示されたときは.....	51
正しいプリント結果が得られないときは.....	61
印字濃度を調節する.....	67

付録

オプションについて.....	70
主な仕様.....	71
インタフェース仕様.....	72
パラレルインタフェース（セントロニクス準拠）.....	72
用語集.....	74
索引.....	79
商標について.....	81

第 1 章

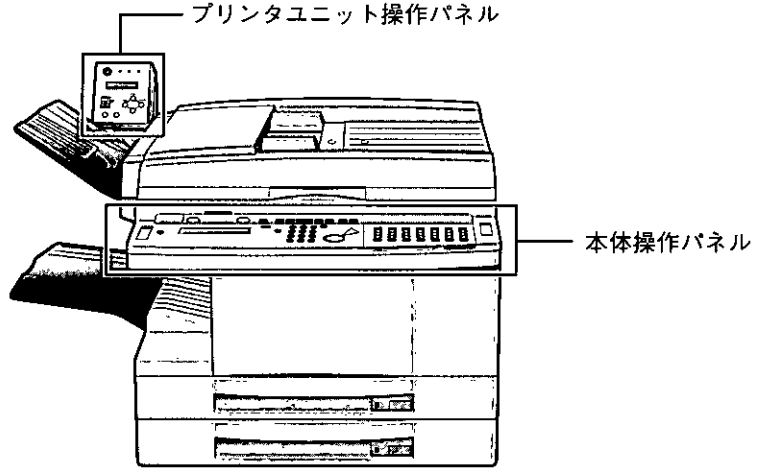
お使いになる前に

各部の名称と機能（プリンタ関連）	8
プリンタユニット操作パネル	8
本体操作パネル	10
[プリンタリスタート] ボタン	11
インタフェース接続部	11
パソコンと接続する	12
DOS/Windows パソコンとの接続	12
ネットワークとの接続	13
動作を確認する	16
ソフトウェアをインストールする	18
Windows の場合	18
DOS の場合	19
ネットワークに接続している場合	19

各部の名称と機能 (プリンタ関連)

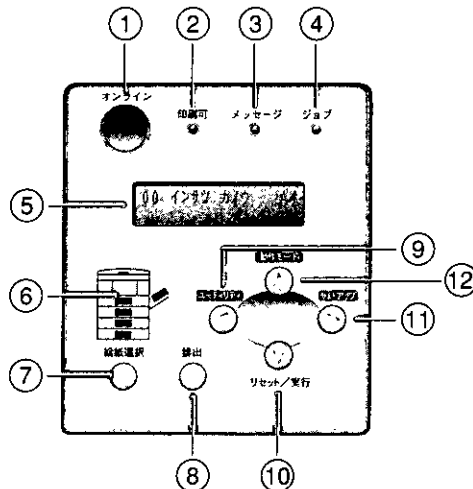
1

第1章
お使いになる前に



プリンタユニット操作パネル

プリンタユニット操作パネルには、中央にディスプレイとそれを取り囲むように、合計4つの表示ランプと7つの操作ボタンがあります。これらの表示ランプ、操作ボタン、ディスプレイは、それぞれ次のような働きをします。



① [オンライン] ボタン

コンピュータとの接続をオン (オンライン) / オフ (オフライン) します。ボタン内部にオンラインランプがあり、オンライン中は点灯し、オフライン中は消灯します。オンラインからオフラインへの移行中は点滅します。他の操作ボタンの機能を使うときには、このボタンを押して、オフラインにします。また、エラーが発生してプリント処理が停止したときに、そのエラーを解除してプリントを続行させる機能も持っています。



- エラーによっては、このボタンを押しても解除できないことがあります。
- 本機がパネルオフモードに移行しているときには、オンラインの状態になってもオンラインランプは消灯しますので、ご注意ください。

② 印刷可ランプ (緑色)

プリント可能な状態のときに点灯します。

電源を入れた直後のウォーミングアップ中は点滅します。

③ メッセージランプ (オレンジ色)

プリンタ機能に何かトラブルが起こってプリントできない状態のときに点灯します。

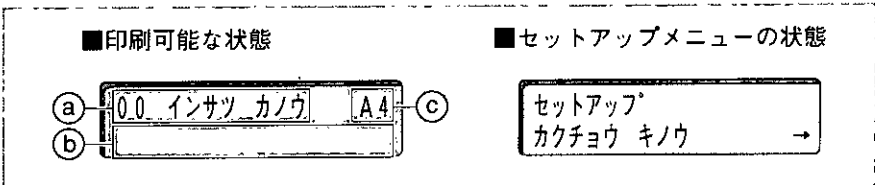
④ ジョブランプ (緑色)

プリントデータの処理中は点滅します。

プリントの実行中 (ジョブ中) は点灯します。

⑤ ディスプレイ

プリンタ機能の状態や給紙カセットの状態、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。



① プリンタ機能の状態や動作モードを表示します。

② 警告メッセージや処理メッセージを表示します。

③ 現在選択されている給紙元を用紙サイズまたは略号で表示します。次の用紙は略号で表示されます。(A4縦:A4R、A5縦:A5R、B5縦:B5R、レター:LT、レター縦:LTR、リーガル:LG、レジャー:LD、フリー:FR、ハガキ:HG、洋形4号封筒:Y4、ユーザペーパー:80~99)



- ここでいう「縦」とは、用紙の搬送方向(縦送り・横送り)を示します。用紙の置きかた(縦置き・横置き)を示すものではありません。

⑥ 給紙元表示ランプ (緑色)

選択されている給紙元のランプが点灯します。

⑦ 【給紙選択】ボタン

このボタンを押すと給紙選択メニューをディスプレイに表示し、用紙の給紙方法を切り替えます。給紙方法は、自動、給紙カセット、手差しトレイの3種類です。2段カセットタイプの場合は給紙カセット1~2が、4段カセットタイプの場合は給紙カセット1~4が選択できます。選択されている給紙元は、ボタン上部の給紙元表示ランプまたはディスプレイで確認できます。(→P.34)

⑧ 【排出】ボタン

何らかの原因でデータが途中で途切れたり、プリントが中断したりしたような場合、ジョブランプが点灯したまま(使用中の状態)になることがあります。

このようなときに、このボタンをオフラインの状態にして押すと、メモリにデータが残っている場合、そのデータを強制的にプリントします。メモリにデータが残っていない場合、ジョブを終了します(ジョブランプ消灯)。(→P.46)

オンラインの状態では動作しません。メモリのデータを強制的にプリントしているときは、「05 ハイシチュウ」とディスプレイに表示されます。

⑨ [ユーティリティ] (<) ボタン

- オフライン： ユーティリティメニューを表示します。
- オンライン： オンラインの状態では動作しません。
- メニュー： メニューの左側の項目を表示します。

⑩ [リセット/実行] (V) ボタン

- オフライン： 1秒以上押し続けると、ソフトリセットを行います。(→P.47)
5秒以上押し続けると、ハードリセットを行います。(→P.48)
- オンライン： オンラインの状態では動作しません。
- メニュー： 表示中の項目を選択、または実行します。
- 電源オン時： このボタンを押しながら電源スイッチをオンにすると、自己診断(セルフテスト)を実行します。

⑪ [セットアップ] (>) ボタン

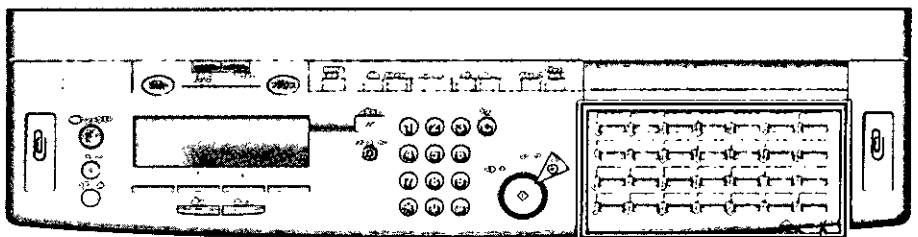
- オフライン： セットアップメニューを表示します。
- オンライン： オンラインの状態では動作しません。
- メニュー： メニューの右側の項目を表示します。

⑫ [動作モード] (Λ) ボタン

- オフライン： 動作モードメニューを表示します。
3秒以上押し続けると優先動作エミュレーションメニューを表示します。(→プリンタ機能ガイド)
- オンライン： オンラインの状態では動作しません。
- メニュー： ひとつ前のメニュー(上の階層)へ戻します。

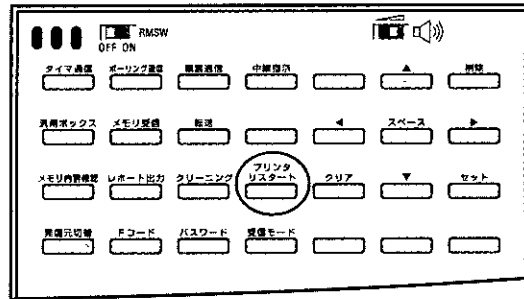
本体操作パネル

本体操作パネルには、ファクス機能やコピー機能のためのボタンやディスプレイがあります。プリンタ機能では、ワンタッチパネルの3枚目の下にある[プリンタリスタート]ボタンのみ使います。



ワンタッチパネル

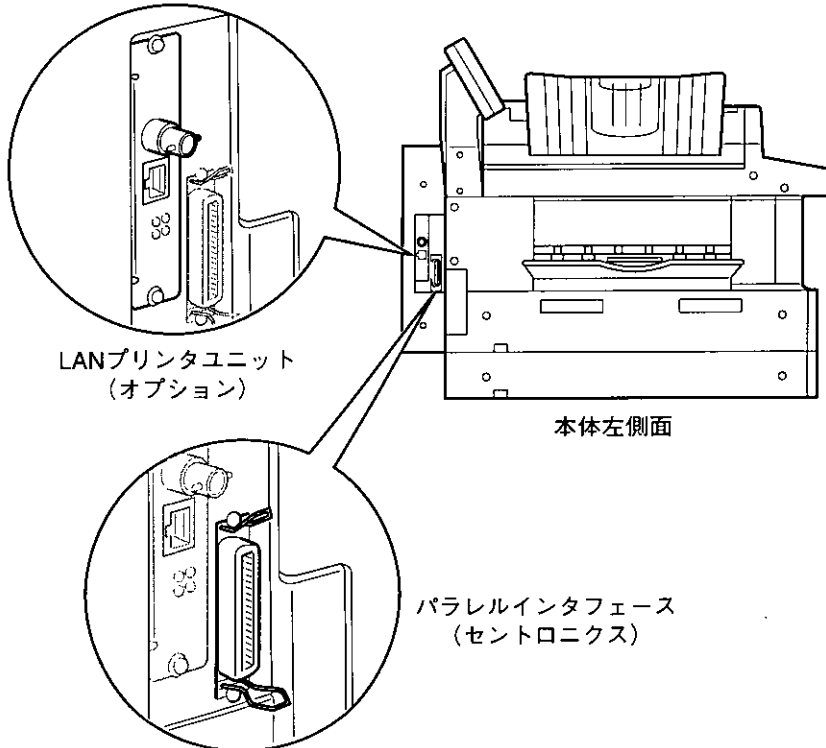
[プリンタリスタート] ボタン



[プリンタリスタート] ボタンを押すと、プリンタ機能を再起動できます。(→P.49)

インタフェース接続部

本機とパソコンを接続するときには、本機側面のインタフェース接続部のコネクタを使います。



パソコンと接続する

本機は、双方向通信対応の平行コネクタを標準装備しています。お使いのパソコンに合った双方向通信対応のプリンタケーブル（別売）で、十分な長さのものをご用意ください。

また、LAN プリンタユニット（オプション）を拡張インターフェースに装着することにより、ネットワークにも接続することができます。お使いのネットワークに合わせて、LAN プリンタユニット（オプション）とケーブルをご用意ください。

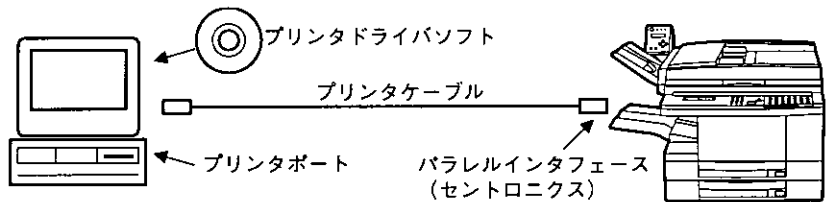


注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、パソコンの電源をオフにしてからインターフェースケーブルを接続してください。故障や事故の原因となることがあります。

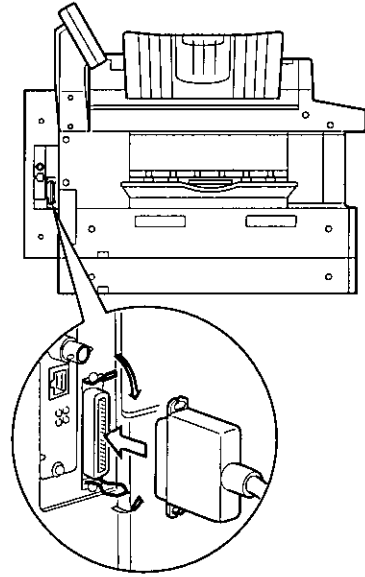
DOS/Windows パソコンとの接続

PC-9800 シリーズや IBM PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）、その他の DOS/Windows パソコンのプリンタポートは、一般的に平行インターフェース（セントロニクス準拠）です。お使いのパソコン用のプリンタケーブルで本機の平行インターフェース接続部とパソコンのプリンタポートを接続します。



1

プリンタケーブルのセントロ36ピンコネクタ側を本機側面のパラレルコネクタへ接続し、両側の留め金を掛けます。

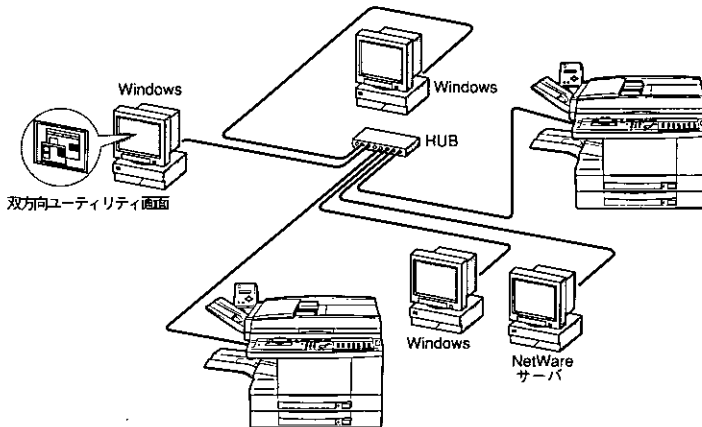


2

プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。

ネットワークとの接続

本機にLAN プリンタユニット (オプション) を取り付けると、Ethernet などのネットワークに直接接続し、ネットワークプリンタとして使用することができます。LAN プリンタユニット (オプション) は、IPX/SPX、TCP/IP の2種類のプロトコルに対応し、インタフェースに10BASE-T および10BASE-2ポートを標準装備しています。



メモ

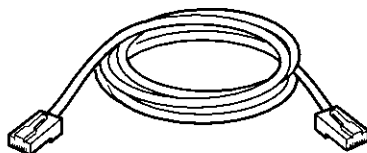
- LAN プリンタユニット (オプション) の10BASE-T コネクタと10BASE-2 コネクタに、同時にネットワークケーブルを接続することはできません。
- LAN プリンタユニット (オプション) は、接続されているインタフェース (10BASE-T または10BASE-2) を自動認識します。

1

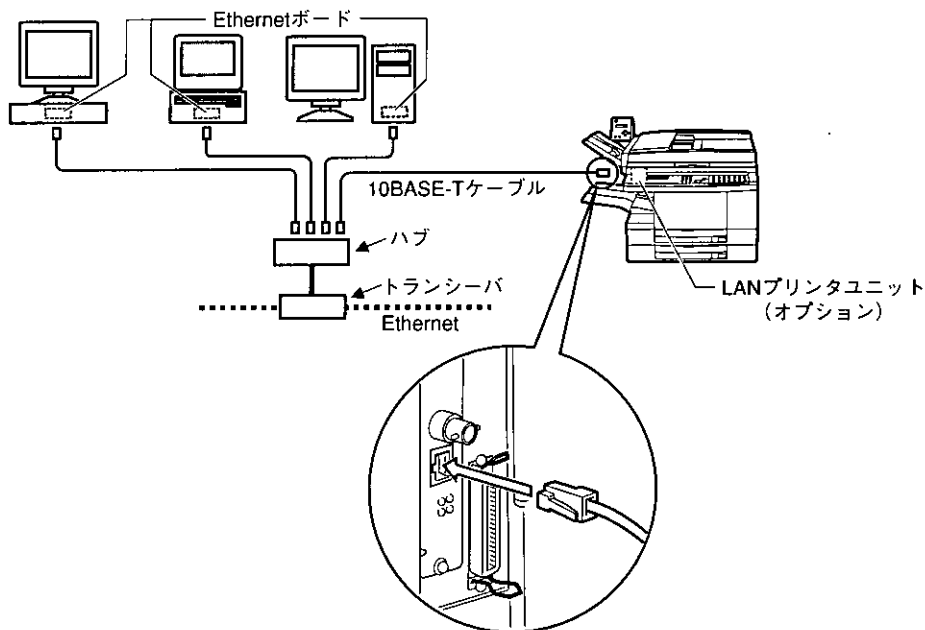
■ 10BASE-Tで接続する場合

10BASE-Tで接続して使用する場合、ネットワークの種類に応じて次のようなケーブルが必要です。あらかじめこれらのケーブルを準備してください。

- ・ 10BASE-T用ネットワークケーブル（両端にRJ45コネクタが付いたシールドなしのより対線）



10BASE-Tケーブルで、ネットワーク上のハブとLANプリンタユニット（オプション）の10BASE-Tコネクタを接続します。

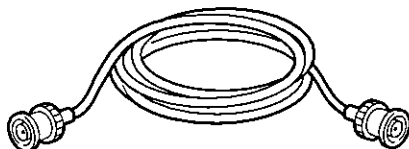


- ネットワークケーブルを接続したら、LANプリンタユニット（オプション）の設定、プリンタドライバのインストール作業を行います。詳しくは、LANプリンタユニット（オプション）に付属のマニュアルをご覧ください。

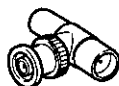
■ 10BASE-2で接続する場合

10BASE2で接続して使用する場合、ネットワークの種類に応じて次のようなケーブルやコネクタが必要です。あらかじめこれらのケーブルやコネクタを準備してください。

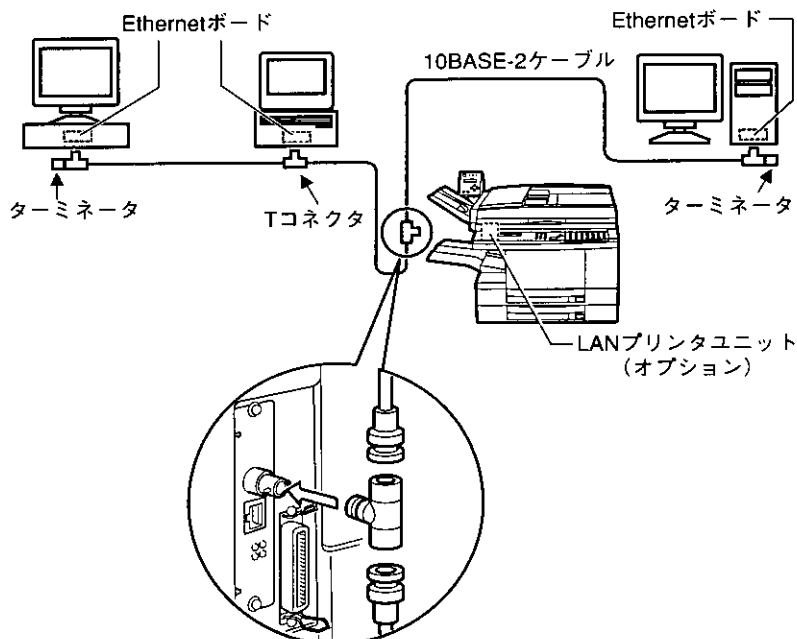
- ・ 10BASE-2用ネットワークケーブル（両端にBNCコネクタが付いた50Ω同軸ケーブル）



- ・ T型コネクタ
- ・ ターミネータ（ネットワークの終端に接続する場合に必要）



ネットワークの途中、または終端にTコネクタを取り付け、LANプリンタユニット（オプション）の10BASE-2コネクタに接続します。



メモ

- 接続作業を行う間は、必ずネットワークを停止してください。
- ネットワークの終端には、必要に応じてターミネータを取り付けてください。
- ネットワークケーブルを接続したら、LANプリンタユニット（オプション）の設定、プリンタドライバのインストール作業を行います。詳しくは、LANプリンタユニット（オプション）に付属のマニュアルをご覧ください。

動作を確認する

本機には、プリンタ機能の状態や印字品質などを確認するためのテストプリント機能が付いています。本機を移動したときやプリンタ機能の動作状態をチェックしたいときは、テストプリントを行い、正しく動作することを確認してください。

1

ディスプレイに「00 インサツ カノウ」と表示されていることを確認します。

2

【オンライン】ボタンを押して、オンラインランプを消灯します。

00 インサツ カノウ A4

オンライン



印刷可 メッセージ ジョブ

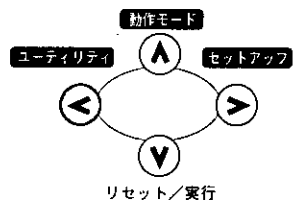


00 インサツ カノウ A4

3

【ユーティリティ】ボタンを押します。

ディスプレイに「ステータス プリント」と表示されます。

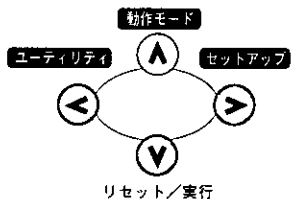


ユーティリティ
ステータス プリント →

4

【<】、【>】ボタンを押して「テストプリント」を選択し、【V】ボタンを押します。

ディスプレイに「テストプリント」と表示され、テストプリントを開始します。



ユーティリティ
テスト プリント →

01 テスト プリント

1







第1章
お使いになる前に








テストプリントのプリント内容

プリンタ機能が正常に動作していると、次のようなパターンが表示されます。

STATUS PRINT

LP3000/NTTFAX D-60

バージョン: F1 NO.KUSAHISA
 サブバージョン: 09.09.2102-221.01
 フォントバージョン: 19970530
 紙張モード: 自動

全機メモリ搭載状況: (14MB + 0MB)
 空きメモリ量: 50% Kbytes
 動作モード: 自動
 優先エミュレーション: N201

拡張機能グループ

コピー枚数: 1枚
 タイムアウト: 30秒
 パネルオフモード: 30分
 プリント警告: 1回
 警告表示: する
 トナー節約: 使わない
 トナー濃度: 4
 警告音: 無音
 自動エクス_SKIP: 使わない
 表示言語: 日本語
 自動切替/LIPS: 使う
 自動切替/N201: 使う
 自動切替/ESC#: 使う
 パワーオンマクロ: 使わない

給紙グループ

トレイ用紙サイズ: A4
 デフォルト用紙サイズ: A4
 用紙の向き: 自動
 トレイ優先: しない
 自動選紙/トレイ: 使う
 自動選紙/カセット1: 使う
 自動選紙/カセット2: 使う
 自動選紙/カセット3: 使う
 自動選紙/カセット4: 使う
 デフォルト用紙タイプ: 普通紙
 用紙名称/トレイ:
 用紙名称/カセット1:
 用紙名称/カセット2:
 用紙名称/カセット3:
 用紙名称/カセット4:

インタフェースグループ

インタフェース選択: 自動
 Baud-A4: A4/A
 Baud-A5: A5/A
 セントロススピード送信: 高速
 セントロススピード受信: 高速
 インプリントブライム: 動作モード依存
 送方向: ニブル
 電圧バックアップ: 64K

レイアウトグループ

縦向き: 0 Dmm
 縦向き: 0 Dmm
 縦向き: 長尺
 縦向き: 0 Dmm

印字調整グループ

スーパーモード: 使う
 印字速度: 自動
 解像度: ファイン
 中間画選択: パターン1
 パンク制御: する
 両面警告: 無音
 システムワークメモリ: 自動
 フォームキャッシュメモリ: 使わない

デバイスID
 Manufacturer: Canon
 Model: LP3000 NTTFAX D-60
 Description: Canon LP3000/NTTFAX D-60
 CompatibleID: LASER SHOT LBP-85/LASER SHOT LBP-750

搭載コントローラ

LIPS Ver.01.15
 N201 Ver.01.39
 ESCP Ver.01.39

LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。
 ESCPは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

ソフトウェアをインストールする

パソコンからプリントするには、プリンタドライバやユーティリティソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。プリンタ機能をお使いになる前にお使いのパソコンやネットワークに合ったソフトウェアをインストールしてください。

Windows の場合

Windows や Windows NT からプリントするときは、本機に付属の CD-ROM から、プリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。

本機には、次のソフトウェアが添付されています。

■ LIPS IV プリンタドライバ

Windows アプリケーションからプリントするときに必要なソフトウェアです。必ずインストールしてください。

■ NetSpot

パソコンからネットワークに接続したプリンタの機能を設定したり、状態を画面に表示できるプリンタユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

■ Print BuddyII

パソコンからプリンタ機能の状態を画面に表示できるプリンタユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

Print BuddyII を使用するには、LAN プリンタユニット (オプション) が必要となります。



メモ

- プリンタドライバやユーティリティソフトの対応OS、インストールのしかた、詳細については、「インストールガイド」をご覧ください。

DOSの場合

DOSのアプリケーションソフトで本機を使用する場合、各アプリケーションソフトのプリンタ設定で本機または互換性のあるプリンタを選択してプリントします。本機は、キヤノン（株）のLIPSモードのほか、PC-9800シリーズのN201エミュレーションモード、IBM PC/AT互換機（DOS/Vパソコン）のESC/Pエミュレーションモードなどの動作モードを内蔵していますので、キヤノン（株）製LIPSプリンタや日本電気（株）製PC-PR201/80Aプリンタ、ESC/P準拠プリンタを、互換性のあるプリンタとして選択できます。



お願い

- プリンタ設定の方法については、ご使用のアプリケーションソフトに付属のマニュアルをご覧ください。
- N201エミュレーションモードおよびESC/Pエミュレーションモードについては、「第2章 プリンタ機能の使いかた／動作モードについて」（→P.30）をご覧ください。

ネットワークに接続している場合

ネットワークに接続している場合は、LANプリンタユニット（オプション）付属のネットワーク管理ソフトと、各クライアントパソコンにプリンタドライバをインストールします。インストールのしかたや詳細については、LANプリンタユニット（オプション）に付属のマニュアルをご覧ください。

また、NetWare®でご使用の場合は、NetWare®サーバの設定とNetWare®クライアントソフトのインストールが必要です。設定やインストールのしかたについては、NetWare®のマニュアルをご覧ください。

第2章

プリンタ機能の使いかた

オンラインとオフライン	22
オンラインにする	22
オフラインにする	23
プリンタ機能について	24
代表的な機能	24
設定のしかた	25
設定の優先順位	25
ファクス・コピー機能と同時に使うとき	26
使用できる機能の組み合わせ	26
プリントモードについて	27
プリントモードの種類	27
プリントモードを設定する	28
動作モードについて	30
動作モードの種類	30
自動切り替えがうまくできないとき	31
専用プリンタと同じ動作で使う（動作モード固定）	31
エミュレーションモードで使うとき	32
給紙元を選択する	34
給紙元の種類	34
給紙元を選択	35
手差しトレイの用紙サイズを変更する	37
プリントできる範囲	39

オンラインとオフライン

本機がパソコンからデータを受け取り、プリントできる状態を「オンライン」、パソコンとの接続が切り離され、データが受け取れない状態を「オフライン」といいます。プリンタユニット操作パネルでメニューを操作するときは、本機をオフラインにしてから行います。

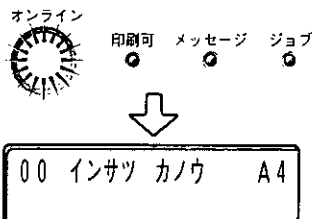
オンラインにする

パソコンからプリントするときは、本機がオンラインの状態になっていることが必要です。プリントするときは、本機がオンラインになっていることを確認してください。オンラインになっていないときは、次の手順でオンラインにします。電源をオンにしたときは、自動的にオンラインの状態になります。

1

[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。



- プリンタ機能がエラー状態(メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態)のときは、オンラインになりません。エラーの原因を取り除いてからオンラインにしてください。
- プリント中は、絶対に本体のカバーやカセットを開けないでください。プリンタ機能が停止し、プリントできなくなる場合があります。



- パネルオフモードが設定されている場合は、オンラインの状態でもパネルオフモードに移行するとオンラインランプが消灯します。データが送られてきたり、プリンタユニット操作パネルに触れると、自動的にオンライン表示に戻ります。

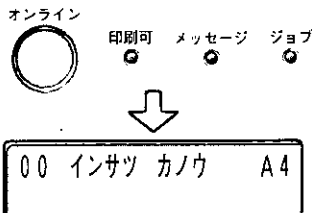
オフラインにする

プリンタユニット操作パネルからメニューの操作や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などをするときには、必ずオフラインの状態になっていることが必要です。プリンタユニット操作パネルのボタンを使うときは、次の手順でオフラインにします。

1

[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを消灯します。

プリンタユニット操作パネルで設定できる状態になります。



お願い

- 本機をオフラインにしたままパソコンからプリントすると、「プリンタの準備ができていません。」、「プリンタが接続されていません。」などのメッセージが表示され、プリントできません。
- プリント中は、絶対に本機のカバーやカセットを開けないでください。プリンタ機能が停止し、プリントできなくなる場合があります。



メモ

- 本機は、オフラインにしたまま5分間以上放置すると、自動的にオンライン状態になります。ただし、プリンタ機能がエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のとき、またはメニュー機能や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などの操作中は、自動的にオンラインになりません。

2

第2章 プリンタ機能の使いかた

プリンタ機能について

本機は、拡大／縮小プリントや複数ページ印刷、綴じしろの設定など、いろいろな機能を持っています。これらの機能を設定するには、プリンタユニット操作パネル、プリンタドライバ、ユーティリティソフトの3つの方法があり、それぞれの方法によって設定できる項目が多少異なります。

代表的な機能

機能	機能の概要	Windows用 プリンタドライバ	ユーティリティ ソフト	プリンタユニット 操作パネル
給紙選択	どこから用紙を給紙するか（給紙元）を設定します。	○	○	○
トレイ用紙サイズ	手差しトレイにセットした用紙のサイズを設定します。	×	○	○
ページフォーマット	エミュレーションモードでプリントするときに、用紙に合わせてページフォーマットを設定します。	×	○	○
データ処理解像度 *1	スーパーファイン（1200dpi）、ファインモード（600dpi）、クイックモード（300dpi）のプリントモードを設定します。	○	○	○
拡大／縮小 *2 （LIPSモード時のみ）	データを拡大または縮小してプリントします。	○	○	○
複数ページ印刷 （LIPSモード時のみ）	拡大／縮小プリントの機能で縮小したデータを複数ページ並べて1枚の用紙にプリントします。	○	○	○
オーバーレイプリント *3 （LIPSモード時のみ）	LIPSのコントロールコマンドで登録したフォーマットを選択し重ねてプリントします。	○	フォーム作成登録はLIPSコマンドで行います。使用するフォームの指定のみ可能です。	
綴じ方向	綴じしろを作る辺（長辺または短辺）を設定します。	○	○	○
綴じしろ	綴じ方向で設定された辺の綴じしろの幅を設定します。	○	○	○
トナー濃度	印字濃度を調節します。	×	○	○
トナー節約	トナーの消費量を節約するモードを設定します。	○	○	○
ブザー警告	エラー発生時のブザー音の鳴りかたを設定します。	×	○	○
パネルオフモード	プリンタ機能の消費電力を節約するモードの設定をします。	×	○	○

- ○印は設定可能、×印は設定できないことを表しています。
- * 1、* 2、* 3の機能は、Windows用プリンタドライバとユーティリティソフト、プリンタユニット操作パネルとで設定内容やプリント結果に違いがありますのでご注意ください。詳細については、「インストールガイド」や「プリンタ機能ガイド」をご覧ください。

設定のしかた

本機のプリンタ機能は、プリンタドライバやユーティリティソフト、プリンタユニット操作パネルで、それぞれ次のように設定して使います。



- プリンタドライバ、ユーティリティソフトのインストール方法や操作のしかたについては、「インストールガイド」をご覧ください。
- プリンタユニット操作パネルからの操作方法については、「プリンタ機能ガイド」をご覧ください。

■プリンタドライバ

本機に付属のプリンタドライバをパソコンにインストールし、プリンタ設定画面またはプロパティ画面を表示して設定します。

■ユーティリティソフト「NetSpot」

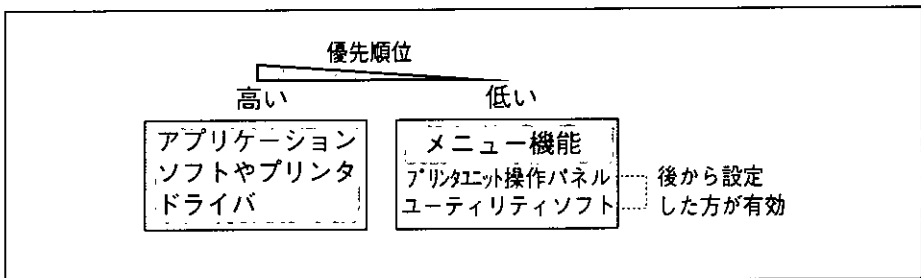
本機に付属のユーティリティソフト「NetSpot」をパソコンにインストールし、NetSpotのプリンタ設定画面で設定します。

■プリンタユニット操作パネル

本機をオフラインにし、プリンタユニット操作パネルのボタンでメニューを選択して設定します。

設定の優先順位

設定した項目は、設定と同時に有効になりますが、プリンタドライバやアプリケーションソフトとプリンタ機能のメニュー項目に同じ機能がある場合、プリンタドライバやアプリケーションソフトの設定が優先されます。



ファクス・コピー機能と同時に使うとき

ファクス機能、コピー機能、プリンタ機能を同時に使うことができますが、組み合わせによって、どちらが優先的に処理されるかが決まっています。使用できる機能の組み合わせについては、次の表をご覧ください。

使用できる機能の組み合わせ

同時に行える動作・操作 現在の動作・操作		コピー	ファクス				プリンタ		
			スキャン	ダイレクト送信	メモリ送信	メモリ受信	自動受信文書のプリント	データ受信	プリント
コピー		×	×	×	○	○	×	○	×
ファクス	スキャン	×	×	×	○	○	○	○	○
	ダイレクト送信	×	×	×	×	○	○	○	○
	メモリ送信	○	○	○	○	○	○	○	○
	メモリ受信	○	○	○	○	○	○	○	○
	自動受信文書のプリント	△*2	○	○	○	○	×	○	△*3
プリンタ	データ受信	○	○	○	○	○	○	—	○
	プリント	×	○	○	○	○	△*3	○	—

○：使用可 ×：使用不可 △：条件付き

- *1 ファクス機能とプリンタ機能のプリントは、コピー終了後にプリントされます。
- *2 コピー機能は、ファクス機能でプリント中でも割り込んでプリントできます。
- *3 ファクス機能、プリンタ機能のプリントを同時に行う場合、次のページのデータが先に準備された機能が優先されます。優先順位はデータの状況にもよりますが、通常はプリンタ機能のプリントが優先されます。

■プリントが待たされる場合の表示

コピーやファクス動作中にプリントを行おうとした場合、プリンタユニット操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

02 プリント タイキチュウ

この表示が消えると、プリントが開始されます。

プリントモードについて

本機には、スーパーファインモード、ファインモード、クイックモードの3つのプリントモードがあり、目的に応じて使い分けることができます。

プリントモードの種類

各プリントモードには、それぞれ次のような特徴があります。

■スーパーファインモード

スーパーファインモードは、リアル1200dpiの超高解像度モードです。きめ細かい階調表現力で、写真などの中間階調をリアルに再現できます。グラデーションの入ったグラフィックや写真が多いデータをプリントする場合に適したモードです。



- スーパーファインモード使用時は、プリンタ増設RAMモジュール（オプション）が8MB以上必要です。詳しくは「プリンタ機能ガイド」をご覧ください。
- スーパーファインモードは、LIPSモードでのプリント時に使用可能です。その他のエミュレーションモードでは使用できません。

■ファインモード

ファインモードは、600dpiの高解像度モードです。文字や線画などの線や階調を滑らかに再現できます。一般的な文書や表を高速に印刷する場合に適したモードです。

■クイックモード

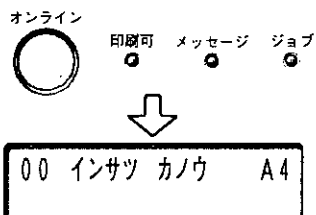
クイックモードは、300dpiの解像度でプリントするモードです。Windowsの出力で高解像度モードに対応していないアプリケーションソフトなどの出力に適したモードです。データ処理が300dpiで行われ、プリント処理がさらに速くなる場合があります。

プリントモードを設定する

プリントモードは、工場出荷状態では、「ファイン」が設定されています。プリントモードの設定は、プリンタドライバとプリンタユニット操作パネルのいずれからでも設定できます。プリンタドライバの操作については、「インストールガイド」をご覧ください。プリントモードを本機のプリンタユニット操作パネルで設定するときは、次の手順で行います。

1

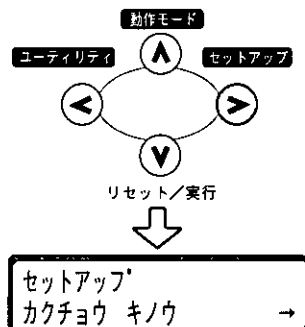
[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを消灯します。



2

[セットアップ] ボタンを押します。

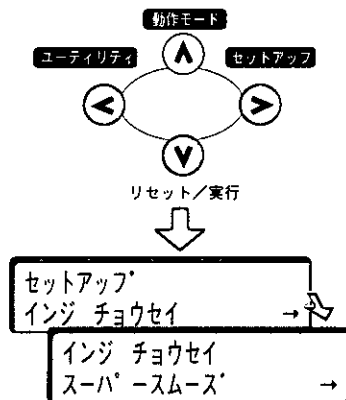
メニュー機能が使える状態になります。



3

[<]、[>] ボタンで「インジ チョウセイ」を表示し、[V] ボタンを押します。

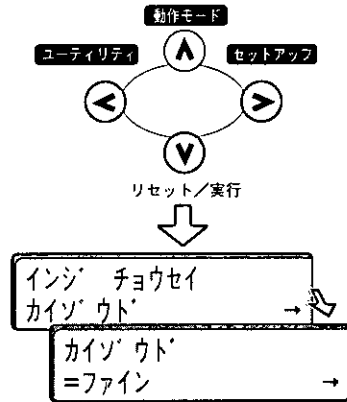
拡張機能の設定項目が表示されます。



4

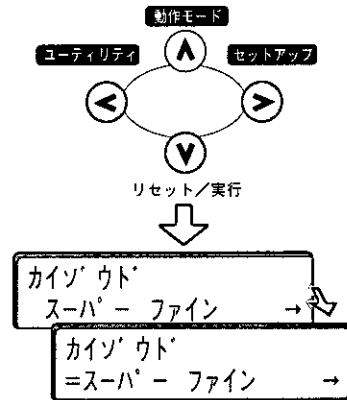
[<]、[>] ボタンで「カイゾウド」を表示し、[V] ボタンを押します。

解像度の設定値が表示されます。



5

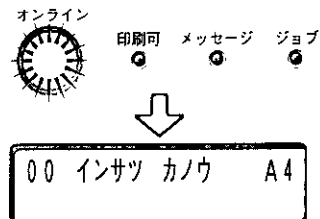
[<]、[>] ボタンで目的の解像度を表示し、[V] ボタンを押します。



6

[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。



動作モードについて

本機は、LIPS モード、PC-9800 シリーズの N201 エミュレーションモード、IBM PC/AT 互換機 (DOS/V パソコン) の ESC/P エミュレーションモードの 3 種類の動作モードを内蔵しています。プリントデータを受信すると、プリントデータを判別し、自動的にデータに応じた動作モードに切り替えてプリントします。

このため、通常は工場出荷時の設定のままですべての各種パソコンに対応できますが、自動切り替えがうまくできないときや、いままで使用していたプリンタと同じ設定で使いたいときなどは、優先的に処理する動作モードを設定したり、いずれかの動作モードに固定したりすることができます。

動作モードの種類

本機は、内蔵の LIPS モード / N201 エミュレーションモード / ESC/P エミュレーションモードを使用できます。

● LIPS モード

LIPS は、キヤノン (株) が開発したページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。LIPS に対応しているアプリケーションソフト (一太郎、Lotus 1-2-3、桐など) はこのモードでプリントします。Windows では、付属の Windows 用プリンタドライバを組み込むと、自動的に LIPS モードでプリントされます。

● N201 エミュレーションモード

日本電気 (株) 製シリアルプリンタ「PC-PR201/80A」の動作をエミュレートする (まねをする) モードです。PC-9800 シリーズのコンピュータで、LIPS に対応していないアプリケーションソフトを使用しているときはこのモードでプリントします。日本電気 (株) が提唱する 201PL のコマンド体系に準拠しています。

● ESC/P エミュレーションモード

IBM-PC/AT 互換機 (DOS/V パソコン)、AX パソコンで標準的に使用されている ESC/P 準拠プリンタの動作をエミュレートする (まねをする) モードです。これらのコンピュータで、LIPS に対応していないアプリケーションソフトを使用しているときはこのモードでプリントします。セイコーエプソン (株) が提唱する ESC/P-J84 のコマンド体系に準拠しています。

自動切り替えがうまくできないとき

本機の動作モード設定を「自動選択」(工場出荷時のままの状態)で使用中に、N201やESC/PデータがLIPSでプリントされるなど、動作モードの自動切り替えがうまくいかない場合は、プリンタ機能を次のように設定してみてください。

次の設定を変更しても自動切り替えがうまくいかないときは、プリントデータに合った動作モードに固定してプリントしてください。

●優先エミュレーションを切り替えたい動作モードに設定する

優先エミュレーションの工場出荷時の設定は「N201」になっています。この設定をプリントするデータに合わせて「ESC/P」や「LIPS」、「なし」に変更します。

●自動切り替えの設定で不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す

自動切り替えの工場出荷時の設定は、すべての動作モードが「使う」になっています。この設定を、不要な動作モードを「使わない」に設定します。



メモ

- 優先エミュレーション、動作モードの自動切り替えの設定、動作モードの固定はユーティリティソフト、プリンタユニット操作パネルのどちらからでもできます。ユーティリティソフトからの設定方法についてはインストールガイド 第4章「NetSpotを使用してプリンタの管理をするには」、プリンタユニット操作パネルからの設定方法についてはプリンタ機能ガイド 第2章「3メニューの操作の流れ」をご覧ください。

専用プリンタと同じ動作で使う (動作モード固定)

本機を使用しているコンピュータ専用のプリンタと同じ動作で使いたいときは、自動切り替えを解除し、動作モードをLIPS、N201エミュレーションモード、ESC/Pエミュレーションモードのいずれかに固定することができます。

●PC-9800シリーズなど日本電気(株)製のコンピュータ

→N201エミュレーションモードに固定

●IBM-PC/AT互換機(DOS/Vパソコン)やAXパソコン

→ESC/Pエミュレーションモードに固定



メモ

- N201エミュレーションモードまたはESC/Pエミュレーションモードでプリントする場合、ページフォーマットの設定が必要です。ページフォーマットについては次ページをご覧ください。
- 動作モードの設定はユーティリティソフト、プリンタユニット操作パネルのどちらからでもできます。ユーティリティソフトからの設定方法についてはインストールガイド、プリンタユニット操作パネルからの設定方法についてはプリンタ機能ガイド 第2章「3メニューの操作の流れ」をご覧ください。

エミュレーションモードで使うとき

本機をN201エミュレーションモードやESC/Pエミュレーションモードで使用する場合、いままで使用していた用紙やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、本機のページフォーマットを設定する必要があります。

■N201のページフォーマット設定

いままでPC-PR201/80Aなど日本電気(株)製のプリンタで使用していた用紙の種類やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、次の7種類のページフォーマットから選択します。本機を購入したまま(工場出荷時)の状態では「実寸縦」に設定されています。

実寸縦： 用紙を縦に使って実寸でプリントします

実寸横： 用紙を横に使って実寸でプリントします

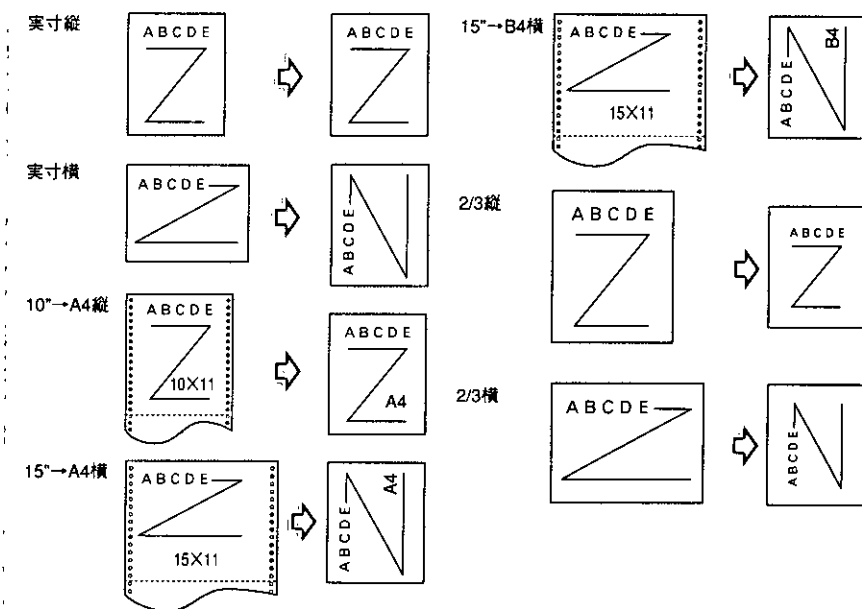
10"→A4縦：10×11インチの連続用紙用に作成したデータをA4に縮小してプリントします

15"→A4横：15×11インチの連続用紙用に作成したデータをA4に縮小してプリントします

15"→B4横：15×11インチの連続用紙用に作成したデータをB4に縮小してプリントします

2/3縦： 実寸縦用のデータを2/3に縮小し、用紙を縦に使ってプリントします

2/3横： 実寸横用のデータを2/3に縮小し、用紙を横に使ってプリントします



メモ

- 用紙サイズは、「10"→A4縦」「15"→A4横」ではA4、「15"→B4横」ではB4が標準ですが、給紙元が設定(給紙選択)されているときは、設定されている給紙元の用紙にプリントします。

■ESC/Pのページフォーマット設定

いままだESC/P準拠プリンタで使用していた用紙の種類やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、次の7種類のページフォーマットから選択します。本機を購入したまま（工場出荷時）の状態では「実寸縦」に設定されています。

実寸縦： A4用紙を縦に使用してプリントします

実寸横： A4用紙を横に使用してプリントします

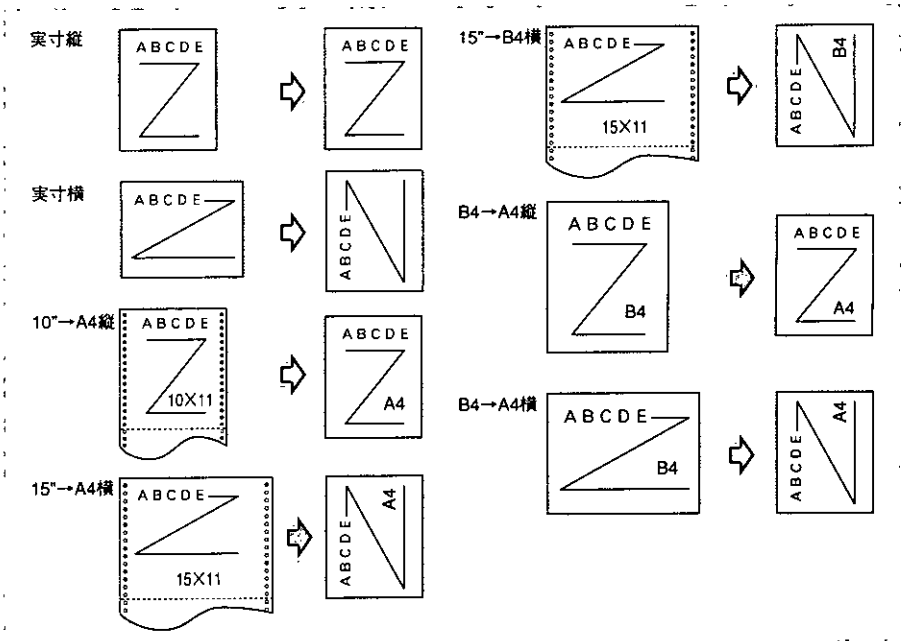
10"→A4縦： 10×11インチの連続用紙用で作成したデータをA4に縮小してプリントします

15"→A4横： 15×11インチの連続用紙用で作成したデータをA4に縮小してプリントします

15"→B4横： 15×11インチの連続用紙用で作成したデータをB4に縮小してプリントします

B4→A4縦： B4サイズ用のデータをA4に縮小し、用紙を縦に使用してプリントします

B4→A4横： B4サイズ用のデータをA4に縮小し、用紙を横に使用してプリントします



メモ

- 用紙サイズは、「10"→A4縦」「15"→A4横」「B4→A4縦」「B4→A4横」ではA4、「15"→B4横」ではB4が標準ですが、給紙元が設定（給紙選択）されているときは、設定されている給紙元の用紙にプリントします。

2

給紙元を選択する



メモ

- 現在選択されている給紙元の用紙サイズは、プリンタユニット操作パネルのディスプレイ右上の表示で確認できます。表示される用紙サイズのうち、次にあげる用紙サイズは略号で表示されます。

A4縦：A4R、A5縦：A5R、B5縦：B5R、レター：LT、レター縦：LTR、リーガル：LG、レジャー：LD、フリー：FR、ハガキ：HG、洋形4号封筒：Y4、ユーザペーパー：80～99

ここでいう「縦」とは、用紙の搬送方向（縦送り・横送り）を示します。用紙の置きかた（縦置き・横置き）を示すものではありません。

- プリンタユニット操作パネルと本体操作パネルでは、用紙サイズの表示が異なります。それぞれの表示は次のように対応しています。

プリンタユニット操作パネル	本体操作パネル	給紙ユニット内での用紙の置きかた
A5	A5 <input type="checkbox"/>	縦置き
A5R	A5 <input type="checkbox"/>	横置き
B5	B5 <input type="checkbox"/>	縦置き
B5R	B5 <input type="checkbox"/>	横置き
A4	A4 <input type="checkbox"/>	縦置き
A4R	A4 <input type="checkbox"/>	横置き
B4	B4 <input type="checkbox"/>	横置き
A3	A3 <input type="checkbox"/>	横置き

給紙元の種類

本機には、本体右側に手差しトレイ、下部に給紙カセットが標準装備され、2段カセットタイプと4段カセットタイプの2種類のタイプがあります。

自動給紙できる最大枚数

- ・2段カセットタイプ 600枚（手差しトレイ 100枚）
- ・4段カセットタイプ 1100枚（手差しトレイ 100枚）

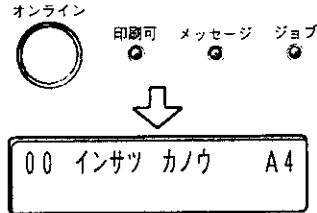
給紙元の選択

本機の給紙選択は、工場出荷時の状態では「ジドウ」に設定してあり、アプリケーションソフトで設定されたサイズ用の紙を自動的に探して給紙します。プリント中に用紙がなくなっても他の給紙元に同じサイズの用紙があれば、自動的に切り替え給紙します。給紙元は、プリンタドライバやユーティリティソフト、プリンタユニット操作パネルで選択できます。プリンタドライバやユーティリティソフトの操作については、「インストールガイド」をご覧ください。プリンタユニット操作パネルで給紙元を選択するときは、次の手順で行います。

1

【オンライン】 ボタンを押して、オンラインランプを消灯します。

プリンタユニット操作パネルで設定できる状態になります。



2

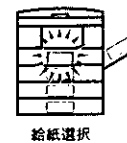
【給紙選択】 ボタンを押します。

ディスプレイに「キューシ モード」と表示されます。



3

【給紙選択】 ボタンまたは【V】 ボタンを押します。



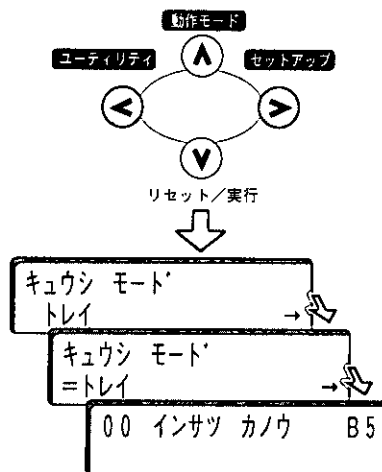
2

第2章 プリンタ機能の使いかた

4

[給紙選択] ボタンまたは [<], [>] ボタンを押して、給紙元を選択します。

給紙選択ボタンを押すたびに、使用可能な給紙元表示ランプが [ジドウ] → [トレイ] → [カセット1] → [カセット2] → [カセット3] (4段カセットタイプの場合) → [カセット4] (4段カセットタイプの場合) の順で点灯します。



2

第2章
プリンタ機能の使いかた



メモ

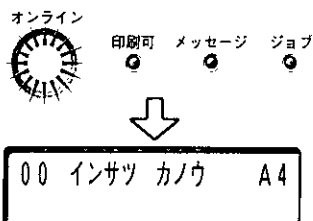
- 2段カセットタイプでは、給紙元表示ランプの下側2つは点灯しません。

給紙元が変更され、ディスプレイ右上に選択した給紙元のサイズが表示されます。「ジドウ」を選択したときは、給紙カセット1のサイズが表示されます。

5

[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。



メモ

- 操作の途中、ボタンを押さない状態が5秒以上続いた場合、または誤操作をした場合は、そのとき表示していた設定値を設定し、オフライン状態に戻ります。
- 操作の途中で [オンライン] ボタンを押すと、そのとき表示していた給紙元を設定し、オンライン状態に戻ります。
- 給紙元が表示された状態で [V] ボタンを押すと、そのとき表示していた給紙元を設定し、オフライン状態に戻ります。

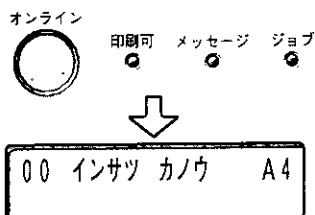
手差しトレイの用紙サイズを変更する

手差しトレイに用紙をセットしたときは、セットアップメニューで用紙サイズを設定します。定形サイズの用紙や封筒は、そのサイズを設定します。定形外の用紙は、「フリー」または「ユーザーページ」に設定します。手差しトレイの用紙サイズ設定は、工場出荷状態では「A4」に設定されています。手差しトレイの用紙サイズは、プリンタユニット操作パネル、ユーティリティソフトのどちらからでも設定できます。ユーティリティソフトの操作については、「インストールガイド」をご覧ください。プリンタユニット操作パネルで手差しトレイの用紙サイズを設定するときは、次の手順で行います。

1

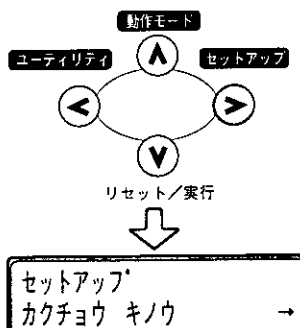
[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを消灯します。

プリンタユニット操作パネルで設定できる状態になります。



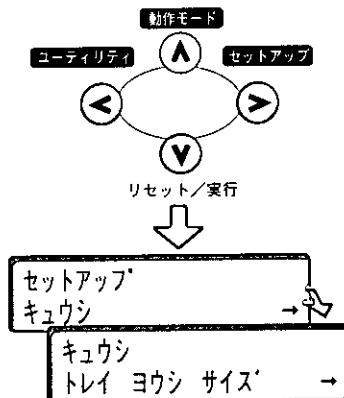
2

[セットアップ] ボタンを押します。



3

[<]、[>] ボタンで「キューシ」を表示し、[V] ボタンを押します。

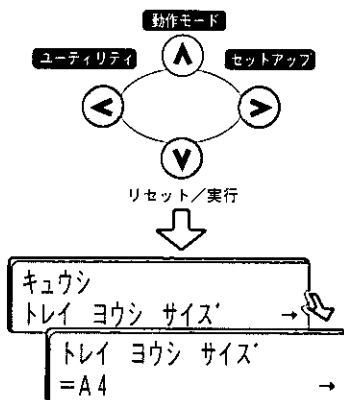


2

第2章 プリンタ機能の使いかた

4

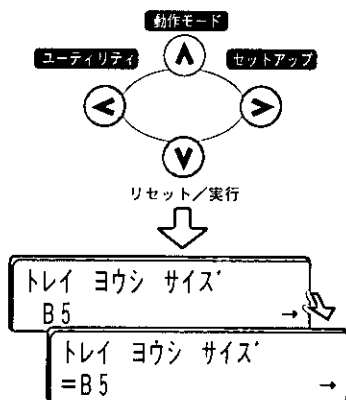
[<]、[>] ボタンで「トレイ ヨウシ サイズ」を表示し、[V] ボタンを押します。



5

[<]、[>] ボタンでトレイ用紙サイズを選び、[V] ボタンを押します。

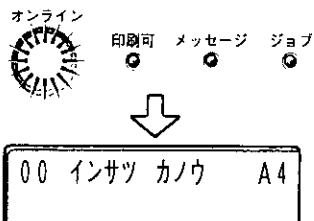
用紙サイズの左に「=」が表示され、「トレイ ヨウシ サイズ」が設定されます。



6

[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

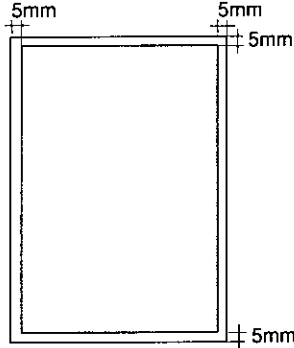


- 不定形サイズ of 用紙をセットしたときは、トレイ用紙サイズを「フリー」に設定してプリントしてください。
- 手差しトレイの用紙サイズ設定とパソコン側の用紙サイズ設定は必ず一致させてください。一致していないと「PC XX ヨウシ ニ コウカン」のメッセージが表示されます。(→ P.59)

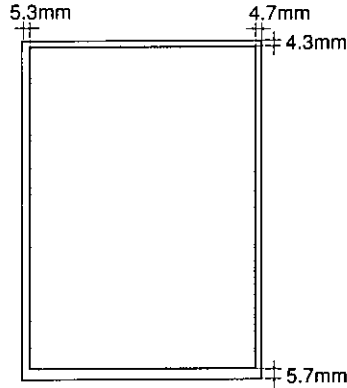
プリントできる範囲

本機でプリントできる領域は、次の範囲です。

- 普通紙、厚紙、OHPフィルム、ラベル紙（フルブリード紙を除く）

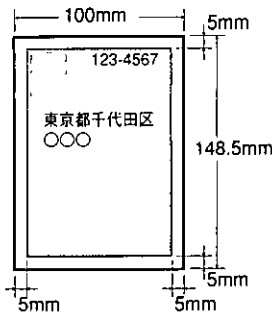


- A3フルブリード紙、レジヤーフルブリード紙

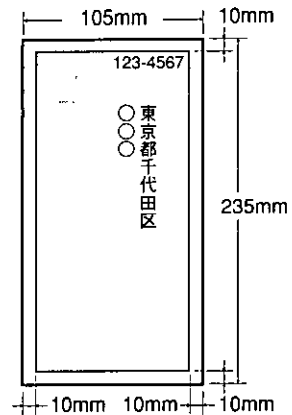


※ただし、上端5mm、下端10mm、左右端7.5mmの範囲は、正常にプリントされないことがあります。

- ハガキ



- 封筒



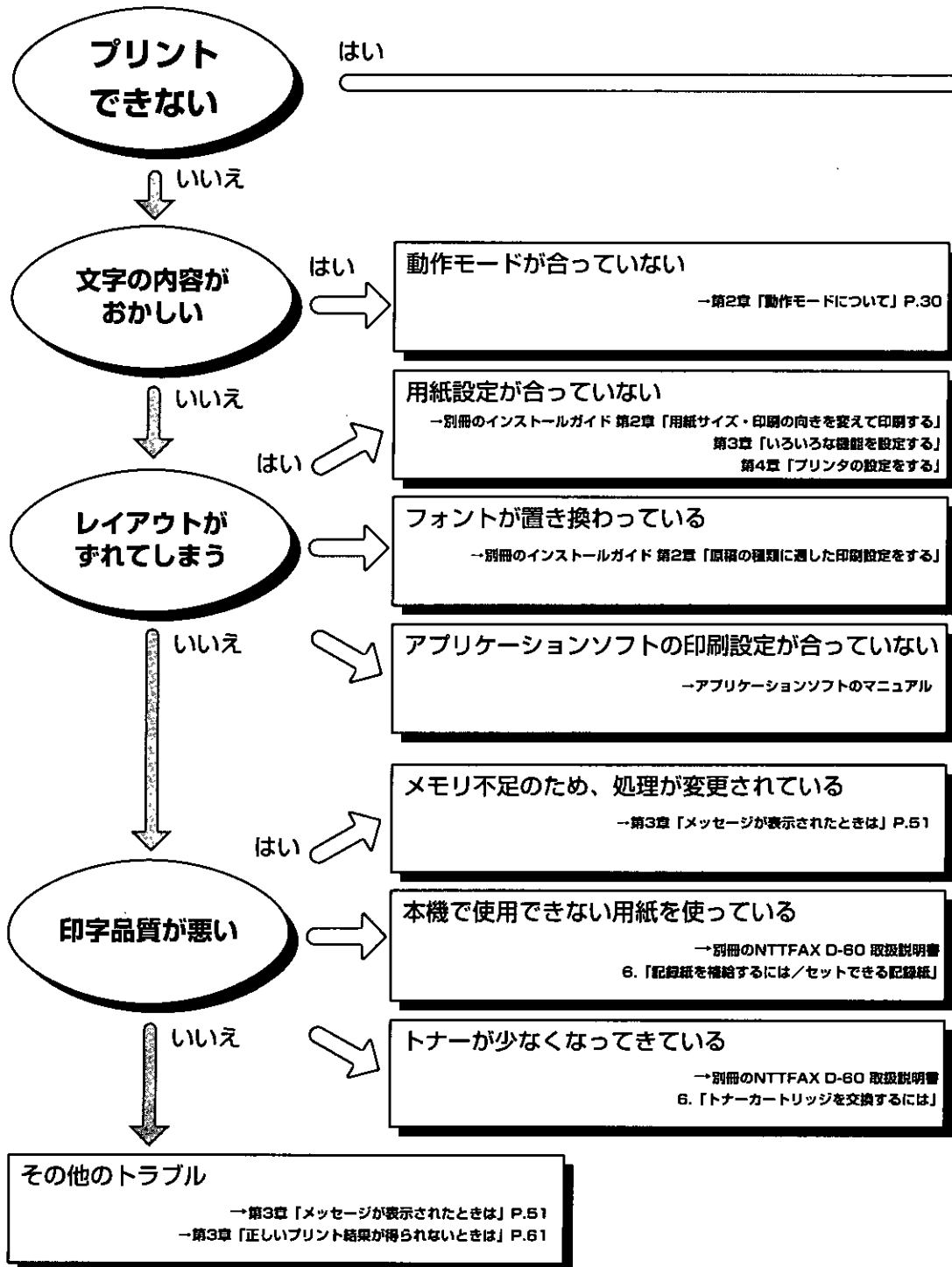
第3章

困ったときには

トラブル解決マップ.....	42
紙づまりが起こったときは（紙づまりの除去）.....	44
つまっている用紙を取り除く.....	44
プリントを途中で中止したいときは.....	46
データを排出する（強制排出）.....	46
現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）.....	47
すべての作業を中止する（ハードリセット）.....	48
プリンタ機能を再起動する（プリンタリスタート）.....	49
メッセージが表示されたときは.....	51
正しいプリント結果が得られないときは.....	61
印字濃度を調節する.....	67

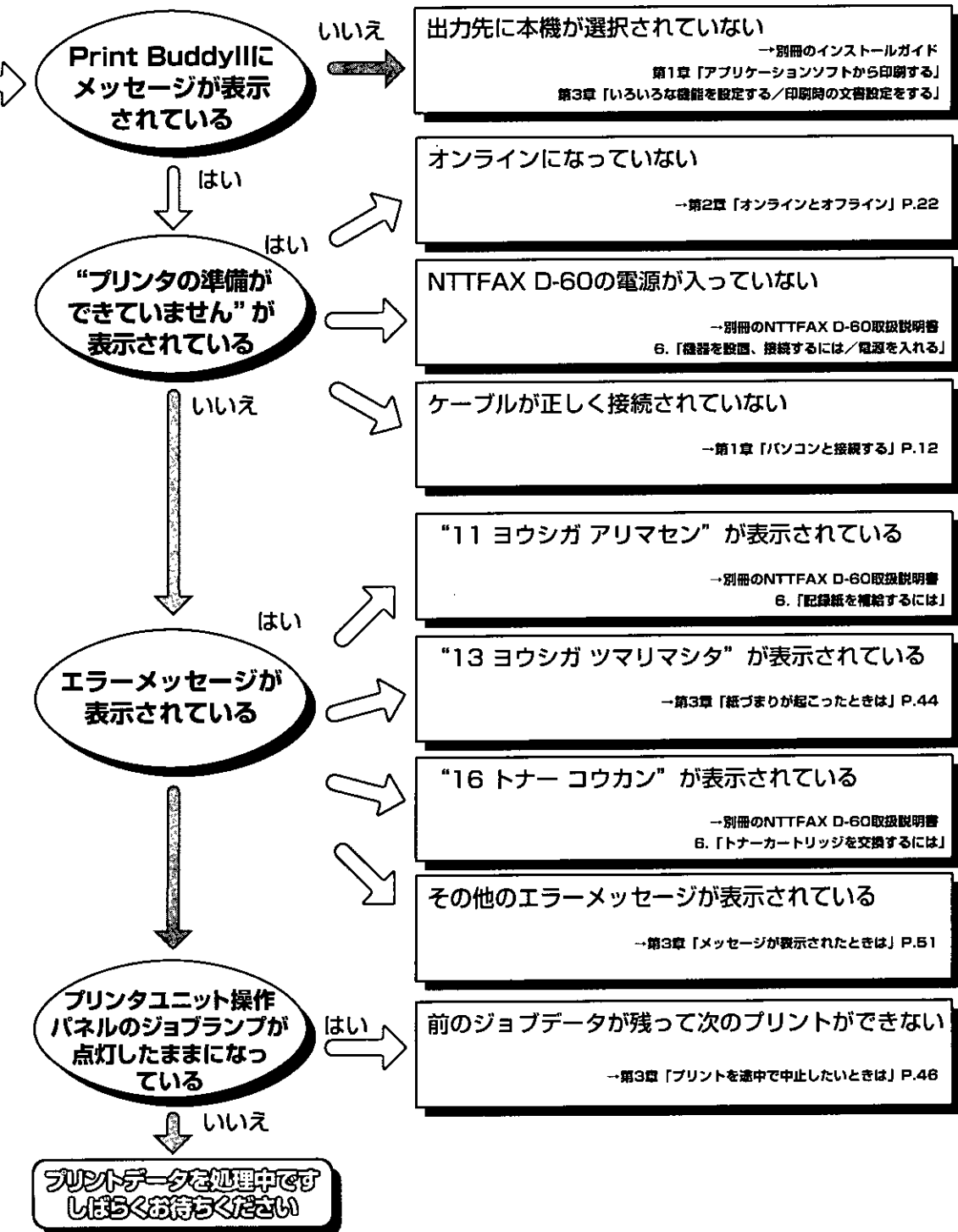
トラブル解決マップ

プリントできないときや困ったときは、このマップで参照先を探してください。



3

第3章 困ったときには



3
第3章 困ったときには

紙づまりが起こったときは（紙づまりの除去）

プリント中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、プリンタユニット操作パネルのディスプレイに「13 ヨウシガ ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。

紙づまりが起こったら、紙づまりの位置を確認し、つままった用紙を取り除いてください。



メモ

- 紙づまりが起こったときのメッセージは、プリンタユニット操作パネルと本体操作パネル両方のディスプレイに表示されます。それぞれのメッセージは次のように対応しています。

プリンタユニット操作パネル	本体操作パネル
ヨウシガ ツマリマシタ ハイシ エリア	記録紙がつまりました [1]
ヨウシガ ツマリマシタ キュウシ エリア	記録紙がつまりました [2]
ヨウシガ ツマリマシタ マエカバ エリア	記録紙がつまりました [3]

つままっている用紙を取り除く

紙づまりが起こったときは、次の手順でつままった用紙を取り除き、プリントを再開します。手順通りに用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度本機の各部を点検し、つままっている用紙を完全に取り除いてください。

プリンタユニット操作パネルのディスプレイに「00 インサツ カノウ」のメッセージが表示されたら、オンライン状態に戻します。中断したページからプリントが再開されます。



お願い

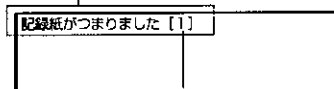
- つままっている用紙を取り除くときは、本機の電源はオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、プリント中のデータが消去されてしまいます。
- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。

1

本体操作パネルのディスプレイのメッセージを参考にして、紙づまりの位置を探します。

紙づまりの位置の探しかたについてはNTTFAX D-60取扱説明書6.「記録紙がつまったら」をご覧ください。

紙づまりが起こると表示されます。



紙づまりが起こった場所が番号で表示されます。

2

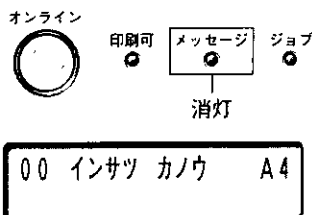
つまった用紙を取り除きます。

つまった紙の取り除きかたについてはNTTFAX D-60取扱説明書6.「記録紙がつまったら」をご覧ください。

3

つまった紙をすべて取り除いたら、各カバーを開けてプリンタユニット操作パネルのディスプレイのメッセージを確認します。

紙づまりがなくなると、メッセージランプが消灯し、「00 インサツ カノウ」が表示されます。エラーメッセージが残っているときは、再度点検してください。



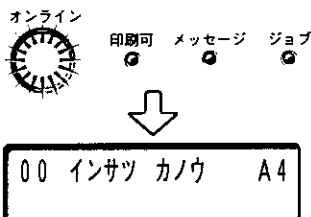
お願い

- 手差しトレイ部に紙がつまった場合、またはカバーを開けずにつまんだ用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、前カバーを一度、開けてから閉め直してください。

4

[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを点灯します。

中断したページからプリントが再開されます。



プリントを途中で中止したいときは

パソコン側の操作でプリントを中止しても、すでに本機に一部データが送られている場合、プリントジョブが終わらないことがあります。そのような場合に、データを排出して本機側の印刷処理を終わらせたり、本機側で現在実行中の処理やすべての作業を中止することができます。

データを排出する (強制排出)

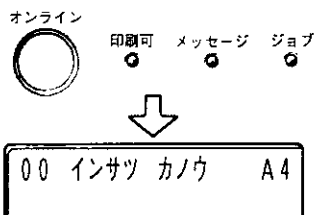
パソコン側でプリントを中止した場合や受信したデータが1ページ分に満たない場合には、本機のメモリにプリントデータが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次のプリントができません。このようなときは、次の手順で強制的にプリントデータを排出してください。データ排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、「ソフトリセット」を行ってください。(→P.47)



- プリントデータが本機のメモリに残ったまま、またはプリントデータがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。
- ジョブタイムアウト時間が設定されているときは、設定されている時間が経過すると、1ページ分に満たないデータも自動的に排出されます。工場出荷時の状態では、ジョブタイムアウトは「30秒」に設定されています。

1

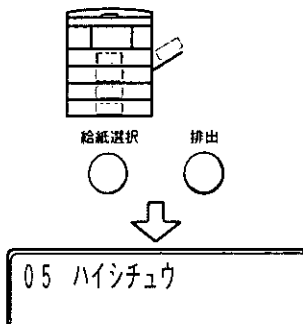
[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを消灯します。



2

[排出] ボタンを押します。

ディスプレイに「05 ハイシチュウ」と表示され、メモリに残っているデータがプリントされます。

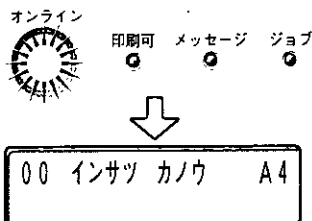


- 排出途中に再度 [排出] ボタンを押すと、強制排出を中止します。ただし、中止されたページのデータは消去されます。

3

[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。



現在実行中の処理を中止する (ソフトリセット)

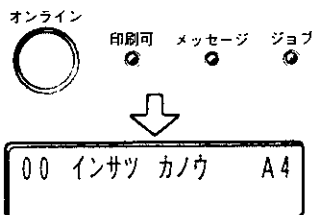
現在実行中の処理だけを中止したいときは、次のような操作で「ソフトリセット」を実行します。ソフトリセットは、そのとき実行しているインターフェースで受信したデータのみを消去します。実行されていないインターフェースで受信されているデータには影響しません。



- 必ずパソコン側でプリント中止の操作を行ってから本機側でプリント中止 (ソフトリセット) の操作を行ってください。
- ソフトリセットを行うと、そのときプリント中のデータは消されますので、再度パソコンからプリントし直してください。
- すでにメモリに受信されたデータでも、他のインターフェースのデータであれば、オンラインに戻すとプリントされます。

1

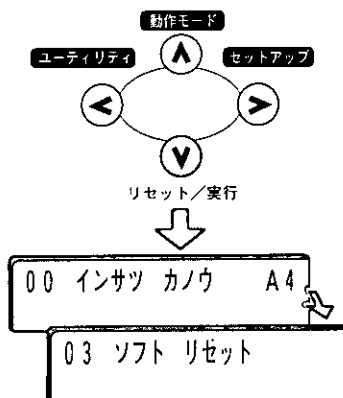
[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを消灯します。



2

[リセット] ボタンを押し続け、「ソフトリセット」と表示されたら放します。

約1秒で表示されます。そのまま5秒以上押し続けると「ハードリセット」の操作になります。



「ソフトリセット」の表示が消えたらリセットが完了します。

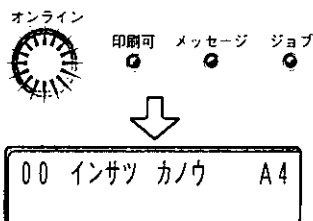
3

第3章 困ったときには

3

[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。



すべての作業を中止する (ハードリセット)

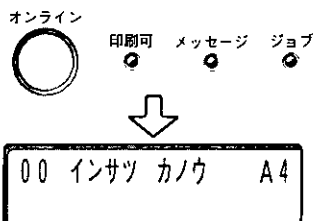
何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータをクリアしたいときは、次のような操作で「ハードリセット」を実行します。ハードリセットは、すべてのインターフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、本機メモリ内のプリントデータを消去します。



- データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しくプリントされないことがあります。
- 他のインターフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように注意してこの操作を行ってください。

1

[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを消灯します。

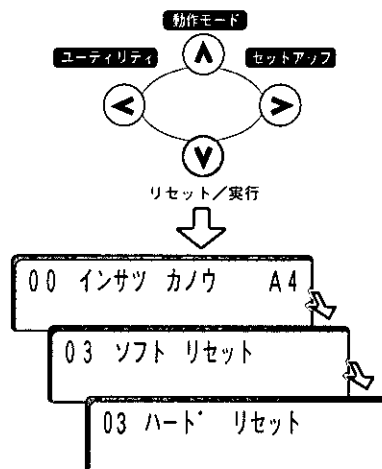


2

[リセット] ボタンを押し続け、「ハードリセット」と表示されたら放します。

「ハードリセット」が表示されるまで(約5秒)押し続けます。5秒以下の場合、「ソフトリセット」の操作になります。

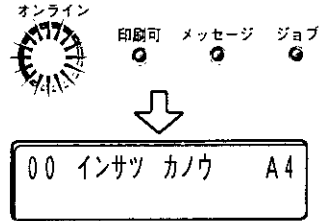
「ハードリセット」の表示が消えたらリセットが完了します。



3

[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。



プリンタ機能を再起動する (プリンタリスタート)

ハードリセットを行おうとしても、プリンタユニット操作パネルからのボタン操作ができないときは、次のような操作で「プリンタリスタート」を実行します。プリンタリスタートは、すべてのインタフェースで受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

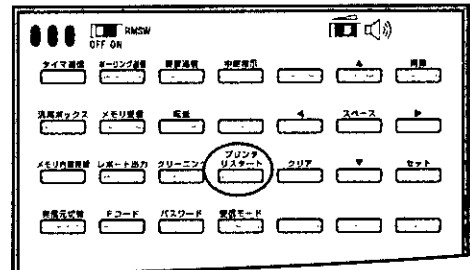


- データの受信中にプリンタリスタートした場合、まだメモリに受信していないデータは、プリンタリスタート処理後に受信されます。ただし、正しくプリントされないことがあります。
- 他のインタフェースのデータでも、すでに本機のメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように注意してこの操作を行ってください。
- 本機の電源をオンにした直後、またはプリンタリスタートを実行した直後の自己診断中には、プリンタリスタートを実行しないでください。

1

ワンタッチパネルを3枚開き、
[プリンタリスタート] ボタンを押します。

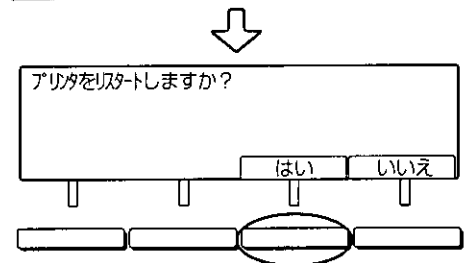
本体操作パネルにメッセージが表示されます。



2

[はい] (画面選択) ボタンを押します。

プリンタユニット操作パネルの表示が消えます。



しばらくすると、プリンタユニット操作パネルのランプやディスプレイが点灯してプリンタ機能やオプションの状態を自己診断します。

自己診断の結果異常がなければ、オンラインランプと印刷可ランプ、選択されている給紙元表示ランプが点灯し、ディスプレイに「00 インサツ カノウ」と表示されてプリント可能な状態になります。

00 インサツ カノウ A4

3

第3章 困ったときには

メッセージが表示されたときは

プリンタ機能の使用中に、何らかの理由でプリントが不可能な状態になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにエラーメッセージを表示します。また、プリントに支障はないが、何らかの処置が必要な状況が発生すると、ディスプレイの下段に警告メッセージを表示します。

これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。



メモ

- 複数の警告メッセージが同時に発生しているときは、警告メッセージを交互に表示します。
- エラーメッセージが同時に発生しているときは、警告メッセージは表示されません。
- セットアップメニューの「ケイコクヒョウジ」を「ツカワナイ」に設定すると、(警告メッセージ)の付いているメッセージは表示されません。
- <エラースキップ可>の付いているメッセージは、[オンライン]ボタンを押すとエラーを回避(エラースキップ)してプリントを継続できますが、プリントデータが欠落したり、正しくプリントされなかったりします。処理を中断したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてから[オンライン]ボタンを押して再度プリントし直してください。

11 ヨウシガ アリマセン

原因 給紙カセットまたは手差しトレイに指定したサイズ用の紙がセットされていない(給紙モードが「自動」のときはすべての給紙カセットと手差しトレイ、固定のときは設定されている給紙カセットまたは手差しトレイ)

対策1 用紙を補給またはセットしてください。

対策2 [給紙選択]ボタンで別の給紙元を選択してください。

参照先 「第2章 プリンタ機能の使いかた/給紙元を選択する」(→P.34)

12 カバーガ アイテイマス

原因 本機のカバーが開いている

対策 カバーまたはドアをしっかりと閉じ、[オンライン]ボタンを押してください。ディスプレイの2行目に開いているカバーの名称が表示されます。

参照先 「第3章 困ったときには/紙づまりが起こったときは(紙づまりの除去)」(→P.44)

13 ヨウシガ ツマリマシタ

原因 内部で紙づまりを起こしている

対策 紙づまりを除去し、[オンライン]ボタンを押してください。紙づまりの除去の際、前カバーを開けなかった場合でも、1回前カバーの開閉を行ってください。

参照先 「第3章 困ったときには/紙づまりが起こったときは(紙づまりの除去)」(→P.44)

14 EPカートリッジ ナシ

原因 トナーカートリッジがセットされていない

対策 トナーカートリッジをセットし、[オンライン] ボタンを押してください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「トナーカートリッジを交換するには」

16 トナー チェック

(警告メッセージ)

原因 トナーの残量が少なくなってきた

対策 トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり5～6回振って、セットし直します。この操作を行ってもメッセージが表示されるときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「トナーカートリッジを交換するには」

16 トナー コウカン

<エラースキップ可>

原因 トナーの残量が少ない

対策1 トナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジと交換し、[オンライン] ボタンを押してください。

対策2 [オンライン] ボタンを押すと「16 トナー チェック」のメッセージに変わり、プリントを継続します。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「トナーカートリッジを交換するには」

17 カセット1 ヨウシ ナシ

(警告メッセージ)

原因 給紙モードが「自動」で、給紙カセット1の用紙が切れている

対策 給紙カセット1に用紙を補給してください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「記録紙を補給するには」

17 カセット2 ヨウシ ナシ

(警告メッセージ)

原因 給紙モードが「自動」で、給紙カセット2の用紙が切れている

対策 給紙カセット2に用紙を補給してください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「記録紙を補給するには」

17 カセット3 ヨウシ ナシ

(警告メッセージ)

原因 給紙モードが「自動」で、4段カセットタイプの場合に、給紙カセット3の用紙が切れている

対策 カセット3に用紙を補給してください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「記録紙を補給するには」

17 カセット4 ヨウシ ナシ

(警告メッセージ)

原因 給紙モードが「自動」で、4段カセットタイプの場合に、給紙カセット4の用紙が切れている

対策 給紙カセット4に用紙を補給してください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「記録紙を補給するには」

19 ヨウシヲ ダシマシタ

<エラースキップ可>

原因 本機内部に残っていた用紙を自動的に排出した

対策 [オンライン] ボタンを押してください。

19 ヨウシガ ノコッテイマス

(警告メッセージ)

原因 本機内部に用紙が残っている

対策 自動排出します(ディスプレイに「19 ヨウシヲ ダシマシタ」が表示されます)。

10 ソウシンチュウ：セントロ/カクチョウ (警告メッセージ)

原因1 双方向に対応していないコンピュータと接続しているのにメニューの双方向の設定が「ツカウ」になっている

対策 メニューの双方向の設定を「ツカワナイ」にしてください。

参照先 別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「5 インタフェースグループを設定する」

原因2 双方向通信機能を使って本機からコンピュータへデータを送信したときに、コンピュータ側がデータの処理中でデータを受信できる状態になっていなかった

対策 一定時間後に自動的に送信データを消去し、メッセージが消えます。

21 プリント オーバーラン <エラースキップ可>

原因 データが複雑すぎて処理が間に合わなかった（オーバーランした）

対策1 セットアップメニューで、バンド制御を「ツカワナイ」に設定し、データを送り直します。

対策2 [オンライン] ボタンを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。

参照先 別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「4 印字調整グループを設定する」

23 ダウンロード メモリフル <エラースキップ可>

原因 オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした

対策1 [オンライン] ボタンを押し、プリントを継続します。ただし、オーバーフローしたデータは登録されません。

対策2 [リセット] ボタンを押してソフトリセットした後、次のような方法で空きRAM容量を増加し、データを登録し直してプリントします。

- ・ハードリセットをするか、プリンタ機能を再起動する（メモリ内のデータはすべて消去されますので、ご注意ください）
- ・セットアップメニューで、印字保証メモリやシステムワークメモリ、受信バッファサイズ、フォームキャッシュメモリを小さくする
- ・プリンタ増設RAMモジュール（オプション）を取り付ける

参照先 「第3章 困ったときには/プリンタ機能を再起動する」（→P.49）

「付録/オプションについて」（→P.70）

別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「4 印字調整グループを設定する」

別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「5 インタフェースグループを設定する」

26 システムメモリ フル <エラースキップ可>

原因 システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した

対策1 [オンライン] ボタンを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

対策2 [リセット] ボタンを押し、ソフトリセットした後、セットアップメニューでシステムワークメモリの容量を増やし、プリントし直します。セットアップメニューで必要なシステムワークメモリ容量が確保できないときは、次のような方法で空きRAM容量を増加します。

- ・ハードリセットをするか、プリンタ機能を再起動する（メモリ内のデータはすべて消去されますので、ご注意ください）
- ・セットアップメニューで、印字保証メモリや受信バッファサイズ、フォームキャッシュメモリを小さくする
- ・プリンタ増設RAMモジュール（オプション）を取り付ける

参照先 「第3章 困ったときには／プリンタ機能を再起動する」（→P.49）

「付録／オプションについて」（→P.70）

別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「4 印字調整グループを設定する」

別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「5 インタフェースグループを設定する」

27 ジョブカイシ フカノウ <エラースキップ可>

原因 指定したエミュレーションが存在しない

対策1 [オンライン] ボタンを押し、プリントをスキップします。そのジョブは無視され、次のプリントができるようになります。

対策2 本機に内蔵のエミュレーションを指定します。

28 ビョウガメモリ フル <エラースキップ可>

原因 印字保証メモリが不足して処理ができなかった

対策1 [オンライン] ボタンを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

対策2 [リセット] ボタンを押し、ソフトリセットした後、セットアップメニューで印字保証メモリの容量を増やし、プリントし直します。セットアップメニューで必要な印字保証メモリ容量が確保できないときは、次のような方法で空きRAM容量を増加します。

- ・ハードリセットするか、プリンタ機能を再起動する（メモリ内のデータはすべて消去されますので、ご注意ください）
- ・セットアップメニューで、システムワークメモリや受信バッファサイズ、フォームキャッシュメモリを小さくする
- ・プリンタ増設RAMモジュール（オプション）を取り付ける

参照先 「第3章 困ったときには／プリンタ機能を再起動する」（→P.49）

「付録／オプションについて」（→P.70）

別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「4 印字調整グループを設定する」

別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「5 インタフェースグループを設定する」

29 シテイ バイリツ エラー

<エラースキップ可>

原因 拡大／縮小プリントで、本機で処理できない倍率（50%～200%の範囲を越えた場合）や用紙サイズを指定した

対策1 [リセット] ボタンを押してソフトリセットした後、倍率や用紙サイズを正しく設定して、プリントし直します。

対策2 [オンライン] ボタンを押してプリントを継続します。ただし、コンピュータ側で指定したサイズの用紙に等倍でプリントします。完全なプリント内容にならないことがあります。

参照先 別冊のプリンタ機能ガイド 第4章「拡大／縮小してプリントする」

30 メモリ フル

<エラースキップ可>

原因1 システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した

対策 [オンライン] ボタンを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

原因2 （電源のオン時に本エラーが発生した場合）メモリの構成が変更された（プリンタ増設RAMモジュール（オプション）が取り外された）ためにNVRAMに設定されている印字保証メモリ、システムワークメモリ、受信バッファサイズ、フォームキャッシュメモリの容量を確保できなかった

対策1 [オンライン] ボタンを押し、NVRAMのメモリの構成を確保可能な値に書き換えてプリントを継続します。

対策2 電源をオフにした後、メモリの構成を変更前の構成に戻して（取り外したプリンタ増設RAMモジュール（オプション）を取り付けて）プリントし直します。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「機器を設置、接続するには／電源を入れる」

「付録／オプションについて」（→P.70）

別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「4 印字調整グループを設定する」

33 ワークメモリ フル <エラースキップ可>

原因 各動作モード専用のワークメモリが確保できない

対策1 [オンライン] ボタンを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。



● [オンライン] ボタンを押してプリントを継続する場合、登録済みのオーバーレイやマクロなどのデータが削除されることがありますのでご注意ください。

対策2 [リセット] ボタンを押してソフトリセットした後、次のような方法でRAMの空き容量を増加し、プリントし直します。

- ・ハードリセットをするか、プリンタ機能を再起動する（メモリ内のデータはすべて消去されますので、ご注意ください）
- ・セットアップメニューで、印字保証メモリやシステムワークメモリ、受信バッファサイズ、フォームキャッシュメモリを小さくする
- ・プリンタ増設RAMモジュール（オプション）を取り付ける

参照先 「第3章 困ったときには/プリンタ機能を再起動する」(→P.49)
「付録/オプションについて」(→P.70)

別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「4 印字調整グループを設定する」

別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「5 インタフェースグループを設定する」

別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「機器を設置、接続するには/電源を入れる」

37 ヨウスタイプ フカノウ <エラースキップ可>

原因 使用できない用紙タイプを指定した

対策 [オンライン] ボタンを押すと、用紙タイプを普通紙としてプリントを継続します。用紙タイプが異なる場合には、正しくプリントされないことがあります。

37 nnヨウシ フカ (nnは用紙サイズ) <エラースキップ可>

原因 指定した用紙をプリントするのに必要なメモリが確保できない

対策1 [オンライン] ボタンを押し、プリントをスキップします。そのプリントジョブは無視され、次のプリントができるようになります。

対策2 [リセット] ボタンを押してソフトリセットした後、セットアップメニューで印字保証メモリを増やし、プリントし直します。

対策3 [リセット] ボタンを押してソフトリセットした後、次のような方法でRAMの空き容量を増加し、プリントし直します。

- ・ハードリセットをするか、プリンタ機能を再起動する（メモリ内のデータはすべて消去されますので、ご注意ください）
- ・セットアップメニューで、システムワークメモリや受信バッファサイズ、フォームキャッシュメモリを小さくする
- ・プリンタ増設RAMモジュール（オプション）を取り付ける

参照先 「第3章 困ったときには/プリンタ機能を再起動する」(→P.49)
「付録/オプションについて」(→P.70)

別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「4 印字調整グループを設定する」

別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「5 インタフェースグループを設定する」

38 ガシツ テイカ

<エラースキップ可>

- 原因** データが複雑すぎてスーパーファインモードまたはファインモードが処理できない
- 対策1** [オンライン] ボタンを押し、プリントを継続します。ただし、解像度を下げたままプリントします。
- 対策2** [リセット] ボタンを押し、ソフトリセットした後、解像度のモードを下げたままプリントし直します。
- 対策3** ファインモードでプリントしたいときは、[リセット] ボタンを押し、ソフトリセットした後、次のような方法で空きRAM容量を増加し、印字保証メモリを出力用紙サイズの保証値に設定し、プリントし直します。
- ・セットアップメニューで、システムワークメモリや受信バッファサイズ、フォームキャッシュメモリを小さくする
 - ・プリンタ増設RAMモジュール（オプション）を取り付ける

参照先 「付録／オプションについて」（→P.70）
 別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「4 印字調整グループを設定する」
 別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「5 インタフェースグループを設定する」

41 プリント チェック

<エラースキップ可>

- 原因1** 本機内部に一時的なエラーが発生した
- 対策** [オンライン] ボタンを押し、プリントを継続します。エラーが発生したページからプリントし直します。
- 原因2** 給紙カセットや手差しトレイにセットした用紙のサイズと、給紙カセットのサイズ検知レバーの設定、トレイ用紙サイズの設定が違っている
- 対策** カセット給紙時は給紙カセットのサイズ検知レバーの設定とセットした用紙のサイズ、トレイ給紙時はトレイ用紙サイズとセットした用紙のサイズを合わせ、[オンライン] ボタンを押し、プリントを継続してください。エラーが発生したページからプリントを継続します。ただし、トレイ給紙時はトレイ用紙サイズとセットした用紙のサイズが違っていても [オンライン] ボタンを押し、強制的にプリントすることができます。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「記録紙を補給するには」
 「第2章 プリンタ機能の使いかた／給紙元を選択する」（→P.34）
 別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「2 給紙グループを設定する」

42 インタフェース エラー

- 原因** LAN プリンタユニット（オプション）に重度の障害が発生した
- 対策** 電源をオフにした後、LAN プリンタユニット（オプション）の取り付けを抜き、電源を入れ直します。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「機器を設置、接続するには／電源を入れる」
 LAN プリンタユニット（オプション）の取扱説明書

43 インタフェース エラー

<エラースキップ可>

- 原因** LAN プリンタユニット（オプション）に軽度の障害が発生した
- 対策** [オンライン] ボタンを押し、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

51 スーパー ファイン フカ <エラースキップ可>

原因 印字保証メモリが不足してスーパーファインでプリントができなかった

対策1 [オンライン] ボタンを押し、プリントを継続します。ただし、ファインモードでプリントします。

参照先 「第3章 プリンタ機能の使いかた／プリントモードについて」 (→P.27)

対策2 [リセット] ボタンを押してソフトリセットした後、セットアップメニューで印字保証メモリを出力用紙サイズの保証値に設定し、プリントし直します。セットアップメニューで必要な印字保証メモリ容量が確保できないときは、次のような方法で空きRAM容量を増加します。

- ・セットアップメニューで、システムワークメモリや受信バッファサイズ、フォームキャッシュメモリを小さくする
- ・登録されているデータを削除する
- ・プリンタ増設RAMモジュール (オプション) を取り付ける

参照先 「付録／オプションについて」 (→P.70)

別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「4 印字調整グループを設定する」

別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「5 インタフェースグループを設定する」

52 イメージモード フカ <エラースキップ可>

原因 イメージモードでプリント中に、対応していない形式のデータを受信した

対策1 [オンライン] ボタンを押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

対策2 イメージデータ形式に対応したプリンタドライバでプリントし直します。

52 ヌリツブシメイレイ フカ <エラースキップ可>

原因 スーパーファインモードでプリント中に、塗り潰し命令 (指定した閉領域を塗りつぶしてプリントするように命令する、LIPSコントロールコマンド) を受信した

対策1 [オンライン] ボタンを押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

対策2 [リセット] ボタンを押してソフトリセットした後、セットアップメニューのデータ処理像度の設定をファインモードまたはクイックモードにして、プリントし直します。

参照先 「第2章 プリンタ機能の使いかた／プリントモードについて」 (→P.27)

5F-nn サービス コール (nnには2桁の英数字)

原因 本機内部に結露が発生した

対策1 プリンタユニット操作パネルのディスプレイのみに「サービスコール」が表示されている場合は、本機を設置してある環境に2時間以上放置して、周囲の温度や湿度に慣らしてください。

対策2 プリンタユニット操作パネルのディスプレイに「サービスコール」が表示され、本体操作パネルのディスプレイにシステムエラー番号 (##0322～##0330) が表示されている場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「エラー番号／メッセージ一覧／システムエラー番号」

F2 フォント ミジッソウ <エラースキップ可>

原因 オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、プリント時に消去されていた

対策 メモリに再度フォントを登録し直すか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、プリントし直します。

F9-nn チェック プリンタ (nnには2桁の英数字)

原因 プリントデータ処理中にトラブルが発生した

対策1 プリンタユニット操作パネルのディスプレイのみに「サービスコール」が表示されている場合は、プリンタリスタートを行ってください。

対策2 プリンタユニット操作パネルのディスプレイに「サービスコール」が表示され、本体操作パネルのディスプレイにシステムエラー番号(##0322～##0330)が表示されている場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「エラー番号/メッセージ一覧/システムエラー番号」

FF フォント フル <エラースキップ可>

原因 登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域(フォントテーブル)がオーバーフローした

対策1 [オンライン] ボタンを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。

対策2 LIPSのコマンドをプログラミングしてプリントしたときは、不要な文字セットを消去してからプリントし直します。

PC XXヨウシ ニ コウカン (XXは用紙サイズ)

原因 選択されている給紙元にセットされている用紙のサイズがアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと違っている、または、拡大/縮小プリント中に、設定した出力用紙サイズに合った用紙がセットされていない

対策1 [給紙選択] ボタンで、サイズの合った用紙がセットされている給紙元を選択してください。

参照先 「第2章 プリンタ機能の使いかた/給紙元を選択する」(→P.34)

対策2 選択されている給紙元の用紙をアプリケーションソフト(または拡大/縮小)で設定した用紙サイズの用紙に交換してください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「記録紙を補給するには」
「第2章 プリンタ機能の使いかた/給紙元を選択する」(→P.34)

対策3 本機側の設定(給紙カセットの場合はサイズ検知レバーの設定、手差しトレイの場合はトレイ用紙サイズ)を確認し、アプリケーションソフト(または拡大/縮小)で設定した用紙サイズと合っていない場合は正しく設定してください。

参照先 別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「2 給紙グループを設定する」

対策4 [オンライン] ボタンを押し、セットされている用紙に強制的にプリントしてください。手差しトレイの場合、トレイ用紙サイズの設定が自動的にアプリケーションソフトの設定に切り替わります。

nn-nn サービス コール (nnには2桁の英数字)

原因 本機の内部機構にトラブルが発生した

対策1 プリンタユニット操作パネルのディスプレイのみに「サービスコール」が表示されている場合は、プリンタリスタートを行ってください。

対策2 プリンタユニット操作パネルのディスプレイに「サービスコール」が表示され、本体操作パネルのディスプレイにシステムエラー番号（##0322～##0330）が表示されている場合は、電源をいったんオフにし、3秒以上待ってから電源を入れ直してください。メッセージが消えることがあります。この操作をしてもメッセージが消えないときは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「エラー番号/メッセージ一覧/システムエラー番号」

正しいプリント結果が得られないときは

本機の使用中に、トラブルかなと思われるような症状が起ったら、症状に応じて次のような処置をします。



お願い

- ディスプレイにメッセージが表示されたときは、「メッセージが表示されたときは」(→P.51)をご覧ください。

■動作のトラブル

プリンタ機能が動かない

原因1 オフラインになっている

対策 [オンライン] ボタンを押し、オンラインランプを点灯します。

参照先 「第2章 プリンタ機能の使いかた／オンラインとオフライン」(→P.22)

原因2 メモリ内にデータが残っている(ジョブランプが点灯している)

対策 [オンライン] ボタンを押し、オフラインにし、[排出] ボタンを押してメモリ内に残っているデータを出力します。

参照先 「第3章 困ったときには／プリントを途中で中止したいときは」(→P.46)

原因3 インタフェースケーブルが外れている

対策 インタフェースケーブルをコンピュータおよび本機のインタフェース接続部にしっかりと接続します。

参照先 「第1章 お使いになる前に／パソコンと接続する」(→P.12)

■プリンタユニット操作パネルのトラブル

プリンタユニット操作パネルのランプがつかない

原因1 電源がオンになっていない

対策 電源をオンにしてください。

原因2 パネルオフモードになっている

対策 プリントデータを送るか、プリンタユニット操作パネルのボタンをどれか押すとプリント可能な状態に戻ります。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「機器を設置、接続するには／電源を入れる」

プリンタユニット操作パネルのボタンが機能しない

原因1 オンラインになっている

対策 [オンライン] ボタンを押し、オフライン状態にします。

参照先 「第2章 プリンタ機能の使いかた／オンラインとオフライン」(→P.22)

原因2 メモリ内にデータが残っている(ジョブランプが点灯している)

対策 [オンライン] ボタンを押し、オフラインにし、[排出] ボタンを押します。

参照先 「第3章 困ったときには／プリントを途中で中止したいときは」(→P.46)

■用紙送りのトラブル

用紙にしわがよる

原因1 給紙カセットに用紙が正しくセットされていない

対策 給紙カセットに用紙を正しくセットしてください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「記録紙を補給するには」

原因2 手差しトレイに用紙を斜めにセットした

対策 手差しトレイにまっすぐに用紙をセットしてください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「記録紙を補給するには」

■印字品質のトラブル

印字がかすれる（白く抜ける）

原因 トナーカートリッジの寿命がきている、またはトナーが均一になっていない（片寄っている）

対策 トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり5～6回振ってトナーをならしてセットし直します。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換します。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「トナーカートリッジを交換するには」

白いすじが入る

原因1 トナーカートリッジの寿命がきている、またはトナーが均一になっていない

対策 トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり5～6回振ってトナーをならしてセットし直します。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換します。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「トナーカートリッジを交換するには」

原因2 トナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している

対策 新しいトナーカートリッジに交換してください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「トナーカートリッジを交換するには」

印字が全体的にうすい、濃い

原因1 トナー濃度の設定が適当でない

対策 セットアップメニューの拡張機能グループで、トナー濃度を調節してください。

参照先 「第3章 困ったときには／印字濃度を調節する」（→P.66）

原因2 セットアップメニューのトナー節約が「ツカウ」に設定されている

対策 セットアップメニューの拡張機能グループで、トナー節約を「ツカワナイ」に設定してください。

参照先 別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「1 拡張機能グループを設定する」

印字ムラが出る**原因1** トナーカートリッジの寿命がきている**対策** トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり5～6回振ってトナーをならしてセットし直します。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換します。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「トナーカートリッジを交換するには」

原因2 トナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している**対策** 新しいトナーカートリッジに交換してください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「トナーカートリッジを交換するには」

原因3 用紙が湿っている、あるいは乾燥している**対策** 適切な用紙に交換してください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「記録紙を補給するには／セットできる記録紙」

ファインモードでプリント時に画像が粗くなったまたは正しくプリントできなかった**原因** データが複雑、あるいは多量すぎて処理ができなかった**対策** エラーメッセージ「38 ガシツ テイカ」(→P.57)をご覧ください。**プリントした用紙に黒点状の汚れが付着する****原因** 定着器が汚れている**対策** 定着器ローラを清掃してください。

参照先 別冊のNTTFAX D-60 取扱説明書 6.「トナーカートリッジを交換するには／定着器ローラのクリーニングをする」

■フォントのトラブル**意味不明の半角文字がプリントされる****原因1** 動作モードの自動切り替えがうまく働かなかった**対策** 動作モードを目的のエミュレーションに固定してプリントし直してください。参照先 「第2章 プリンタ機能の使いかた／動作モードについて」(→P.30)
別冊のプリンタ機能ガイド 第2章「3メニューの操作の流れ」**原因2** LIPSモードで使用中に、LIPS専用セットアップメニューの漢字コードの設定が違っている**対策** LIPS専用セットアップメニューの漢字コードの設定をコンピュータで使用している漢字コードに正しく合わせてください。

参照先 別冊のプリンタ機能ガイド「第4章 LIPS専用セットアップメニューの設定」

原因3 付属のWindows用プリンタドライバを組み込まずにWindowsからプリントした**対策** 付属のWindows用プリンタドライバを組み込み、プリントし直してください。

参照先 「第1章 お使いになる前に／ソフトウェアをインストールする」(→P.18)

別冊のインストールガイド 第1章「プリンタドライバとPrint BuddyIIをインストールする」

別冊のインストールガイド 第3章「プリンタドライバをインストールする」

原因4 DOSアプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない**対策** DOSアプリケーションソフトのプリンタ設定を、本機と互換性のあるプリンタに設定し直してください。

参照先 「第1章 お使いになる前に／ソフトウェアをインストールする」(→P.18)

指定した書体と違う書体で印字される

原因 Windows用プリンタドライバでTrueTypeフォントの置き換えが設定されている

対策 Windows用プリンタドライバでTrueTypeフォントの置き換えを正しく設定し直し、プリントし直してください。

参照先 別冊のインストールガイド 第2章「原稿の種類に適した印刷設定をする」

■その他のトラブル**白紙のページがプリントされない**

原因 LIPSモードでプリント中に、LIPSセットアップメニューの「ハクシセツヤク」が「ツカウ」になっている

対策 白紙のページをプリントするときは、LIPSセットアップメニューの「ハクシセツヤク」を「ツカワナイ」に設定します。

参照先 別冊のプリンタ機能ガイド 第4章「白紙ページを排出しないようにする」

最後のページがプリントできない

原因 データの終わりを表すコマンドが来ない（ジョブランプが点灯している）

対策 [オンライン] ボタンを押してオフラインの状態にし、[排出] ボタンを押します。（印刷機能のないアプリケーションソフトでプリントした場合、最後のページのデータが1ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます。）

参照先 「第3章 困ったときには／プリントを途中で中止したいときは」（→P.46）

データが用紙をはみだした（用紙の周囲のデータがプリントされない）

原因1 データのサイズより小さな用紙をセットした

対策 データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小印刷をしてください。

参照先 別冊のプリンタ機能ガイド 第4章「拡大／縮小してプリントする」

原因2 用紙をセットする位置が合っていない

対策 用紙を正しくセットし、プリントし直してください。

参照先 別冊のNITTFAX D-60取扱説明書 6.「記録紙を補給するには」

原因3 余白なしで、用紙いっぱいのデータをプリントした

対策 データの周囲に5mm以上（封筒は10mm以上）の余白を取ってプリントし直してください。（用紙の周囲5mm（封筒は10mm）の範囲にはプリントできません。）

参照先 「第2章 プリンタ機能の使いかた／プリントできる範囲」（→P.39）
アプリケーションソフトのマニュアル

原因4 N201モードやESC/Pモードの「ページフォーマット」の設定が合っていない

対策 N201モードやESC/Pモードの「ページフォーマット」を正しく設定し、プリントし直してください。

参照先 「第2章 プリンタ機能の使いかた／動作モードについて」（→P.30）

原因5 N201モードやESC/Pモードの「用紙位置」の設定が合っていない

対策 N201モードやESC/Pモードの「用紙位置」を正しく設定し、プリントし直してください。

参照先 別冊のプリンタ機能ガイド 第5章、第6章「1ページレイアウトグループを設定する」

印字位置がずれてしまう

原因1 N201モードやESC/Pモードの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない

対策 N201モードやESC/Pモードの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントし直してください。

参照先 別冊のプリンタ機能ガイド 第5章、第6章「1 ページレイアウトグループを設定する」

原因2 セットアップメニューのレイアウトの「綴じしろ」、「縦補正」、「横補正」が設定されている

対策 セットアップメニューのレイアウトの「綴じしろ」、「縦補正」、「横補正」の設定を「0」に設定し、プリントし直します。

原因3 アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない

対策 アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントし直してください。

参照先 別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「3 レイアウトグループを設定する」

印字位置がだんだんずれていく

原因 N201またはESC/Pモードを使用しているときに、ページフォーマットの設定とアプリケーションソフトで設定した用紙の種類が合っていない

対策 アプリケーションソフトの用紙の種類とページフォーマットの設定を合わせてプリントし直します。

参照先 「第2章 プリンタ機能の使いかた／動作モードについて」(→P.30)

ページの途中から次ページにわかれてプリントされる

原因1 アプリケーションソフトの「行間」や「1ページの行数」の設定が合っていない

対策 1ページに収まるようにアプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1ページの行数」を変更してからプリントし直します。

参照先 アプリケーションソフトのマニュアル

原因2 セットアップメニューの拡張機能の「タイムアウト」の設定秒数が短すぎる

対策 「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。

参照先 別冊のプリンタ機能ガイド 第3章「1 拡張機能グループを設定する」

縮小されてプリントされる

- 原因1** 縮小プリントの設定がされている
- 対策1** プリンタドライバやアプリケーションの縮小印刷設定を解除してください。
参照先 別冊のインストールガイド 第2章「原稿を拡大・縮小して印刷する」およびオンラインヘルプ
- 対策2** LIPS セットアップメニューの「拡大/縮小」を「シナイ」にしてください。
参照先 別冊のプリンタ機能ガイド 第4章「拡大/縮小してプリントする」
- 原因2** N201モードで使用しているときに、ページフォーマットが「2/3縦」「2/3横」に設定されている
- 対策** 「2/3縦」「2/3横」のページフォーマットでは縮小して印刷されます。N201 セットアップメニューの「ページフォーマット」を「実寸縦」または「実寸横」にしてください。
参照先 「第2章 プリンタ機能の使いかた/動作モードについて」(→P.30)
別冊のプリンタ機能ガイド 第5章「1 ページレイアウトグループを設定する」
- 原因3** ESC/P モードで使用しているときに、ページフォーマットが「B4→A4縦」「B4→A4横」に設定されている
- 対策** 「B4→A4縦」「B4→A4横」のページフォーマットでは縮小して印刷されません。ESC/P セットアップメニューの「ページフォーマット」を「実寸縦」または「実寸横」にしてください。
参照先 「第2章 プリンタ機能の使いかた/動作モードについて」(→P.30)
別冊のプリンタ機能ガイド 第6章「1 ページレイアウトグループを設定する」

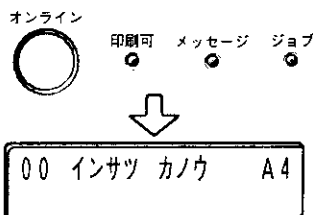
印字濃度を調節する

プリント結果の印字濃度が濃すぎたり、薄すぎたりするようなときは、次のような操作でトナー濃度を調節します。トナー濃度は、工場出荷時に標準的な濃度 (4) に設定されています。トナー濃度は、プリンタユニット操作パネルとユーティリティソフトのいずれからでも設定できます。ユーティリティソフトからの設定方法については、「インストールガイド」をご覧ください。

トナー濃度をプリンタユニット操作パネルから設定するときは、次の手順で操作します。

1

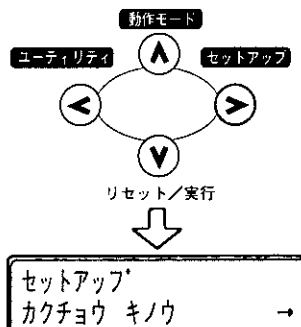
[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを消灯します。



2

[セットアップ] ボタンを押します。

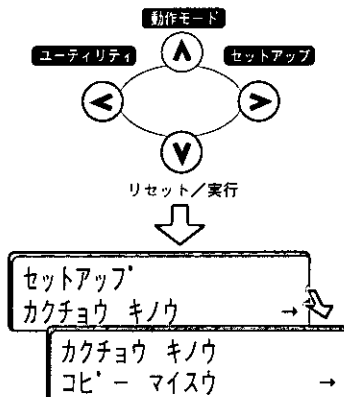
メニュー機能が使える状態になります。



3

[<]、[>] ボタンで「カクチョウ キノウ」を表示し、[V] ボタンを押します。

拡張機能の設定項目が表示されます。



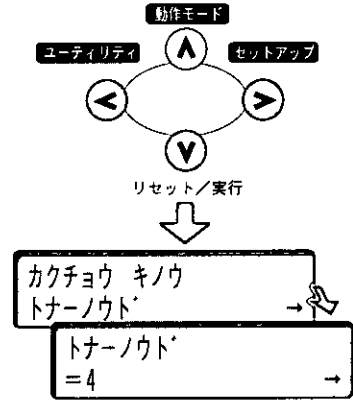
3

第3章 困ったときには

4

[<]、[>] ボタンで「トナーノウト」を表示し、[V] ボタンを押します。

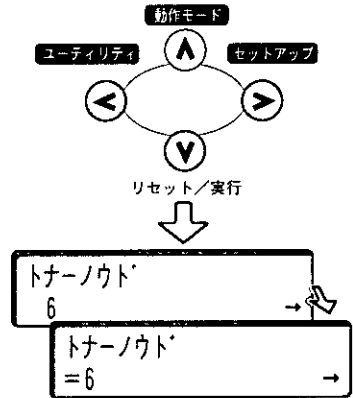
トナー濃度の設定値が表示されます。



5

[<]、[>] ボタンで目的の数値を表示し、[V] ボタンを押します。

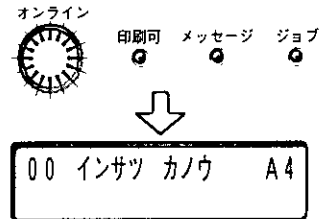
- [<] ボタンを押すと数値が減り、印字濃度は薄くなります。
- [>] ボタンを押すと数値が増え、印字濃度は濃くなります。



6

[オンライン] ボタンを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。



付録

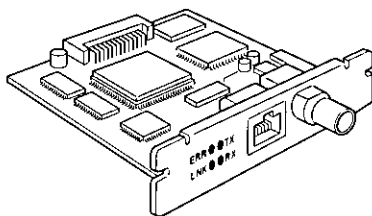
オプションについて	70
主な仕様	71
インタフェース仕様	72
パラレルインタフェース (セントロニクス準拠)	72
用語集	74
索引	79
商標について	81

オプションについて

本機の機能をフルに生かしてお使いいただくために、次のようなオプション品が用意されています。必要に応じてお買い求めください。

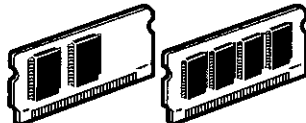
LAN プリンタユニット

本機をLANに接続するためのプリンタ内蔵型ネットワークボードです。IPX/SPX、TCP/IPに対応したものがあり、NetWare®、Windows、UNIX、イントラネットなど幅広いLANシステムに対応可能です。



プリンタ増設 RAM モジュール

メモリ容量を拡張するための増設メモリです。PCプリンタユニットは4MBのメモリを標準装備しています。プリンタ増設RAMモジュールは最大2個（32MB）まで増設可能で、PCプリンタユニットのメモリ総容量を36MBまで拡張することができます。



プリンタ増設RAMモジュールには、8MB、16MBの2種類のボードがあり、以下の組み合わせで取り付けることができます。

プリンタ増設RAMモジュール	取り付け後の容量	「自動」確保できる 印字保証メモリ
8MB	12MB	A3
16MB（または8MB＋8MB）	20MB	A3×2
16MB＋8MB	28MB	B4×3
16MB＋16MB	36MB	A3×3

主な仕様

外觀・仕様などは改良のため予告なしに変更することがあります。

■ハードウェアの仕様

対応機種	NTTFAX D-60
プリント方式	電子写真方式（オンデマンド定着）
プリント速度	16枚／分（A4横, 300/600dpi） 8枚／分（A4横, 1200dpi）
ウォーミングアップ時間	15秒以下（20℃, プリント増設 RAMモジュール(オプション) 未装着時）

■コントローラの仕様

CPU	i960HD (50MHz)
メモリ(RAM) 容量	標準 4 MB プリント増設 RAMモジュール(オプション) により、最大 36MB まで拡張可能
ネットインタフェース	パラレルインタフェース(セントロクス準拠/双方向) LANポート(オプション) × 1
ユーザインタフェース	16桁 LCD × 2段 LEDランプ9ヶ、操作ボタン7ヶ
RAMスロット	2

■ソフトウェアの仕様

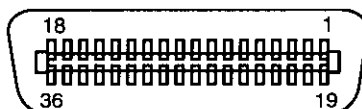
内蔵コントロールコマンド*	LIPS II + / LIPS III / LIPS IV 標準 N201 (PR201-80A) / 標準 ESC/P
内蔵スケラブルフォント	平成明朝体™W3*注、平成角ゴシック体™W5*注、丸ゴシック体、ラインプリンタフォント* *注：これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。 Courier、Dutch、Swiss、Symbol
有効印字領域	上下左右とも周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲には印字できません。

インタフェース仕様

パラレルインタフェース (セントロニクス準拠)

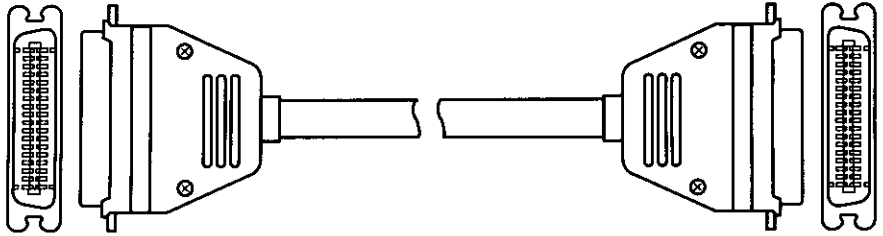
●信号線とピン配置

ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	DATASTROBE	19	GND (DATASTROBE)
2	DATA0	20	GND (DATA0)
3	DATA1	21	GND (DATA1)
4	DATA2	22	GND (DATA2)
5	DATA3	23	GND (DATA3)
6	DATA4	24	GND (DATA4)
7	DATA5	25	GND (DATA5)
8	DATA6	26	GND (DATA6)
9	DATA7	27	GND (DATA7)
10	ACK	28	GND (PERROR, SELECT, ACK)
11	BUSY	29	GND (BUSY, FAULT)
12	PERROR	30	GND (AUTOFD, SELECT IN, INIT)
13	SELECT	31	INIT
14	AUTOFD	32	FAULT
15	AUXOUT1	33	AUXOUT2
16	0V(GND)	34	AUXOUT3
17	FG	35	AUXOUT4
18	+5V	36	SELECT IN



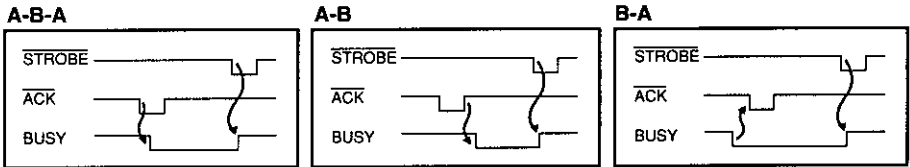
●「AUXOUT」は、拡張用の信号出力で、現在は未使用です。

●コネクタおよびケーブル



コネクタ：第一電子工業 57FE-30360または相当品
 ケーブル：シールドケーブル（最長 3m）

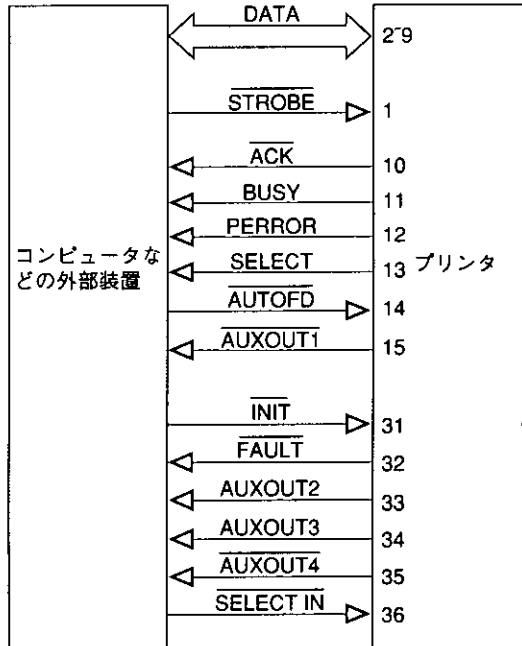
●タイミングチャート



メモ

● タイミングはメニュー機能の「拡張機能／インタフェースグループ」で変更
 します。（→プリンタ機能ガイド）

●結線図



用語集

LIPS

LIPSとは、キヤノン（株）の日本語プリンタ用に開発されたコントロールコマンドです。LIPS II、LIPS II+、LIPS III、LIPS IV、LIPS IVcの5種類があり、LIPS IV、LIPS IVcはLIPS IIIの機能を拡張したもので、フルカラープリントにも対応しています。それぞれのコマンドは上位互換を保っています。本機はLIPS II+とLIPS III、LIPS IVに対応しています。

NetSpot

NetSpotは、コンピュータ側から本機を設定したり、プリントを管理したりするためのユーティリティソフトです。Windows用とWindowsNT用があります。いずれも本機に標準添付されており、必要に応じてコンピュータにインストールして使用します。
(→インストールガイド)

MaxiMem (マキシメモ)

高精細プリントを最大限に引き出す、キヤノン（株）のメモリ効率化機能です。

NVRAM

NVRAMとは、Non-Volatile Random Access Memoryの略で、電源を切っても内容が保存される、読み書き可能なメモリのことです。本機ではメニュー機能の設定内容を保存するために用いられており、常に最新の設定内容が保存できるようになっています。

Print BuddyII

Print BuddyIIは、コンピュータ側でプリンタ機能の状態をリアルタイムで表示するためのユーティリティソフトです。Windows用が本機に標準添付されており、必要に応じてコンピュータにインストールして使用します。

(→インストールガイド)

RAM

RAMとは「Random Access Memory」の略で、読み書き可能なメモリですが、電源を切ると登録した内容が消えてしまいます。PCプリンタユニットでは、システムワークメモリや受信バッファに使っています。また、PCプリンタユニットのメモリ容量を増加するために、プリンタ増設RAMモジュール（オプション）が用意されています。

ROM

ROMとは「Read Only Memory」の略で、読み出し専用メモリです。電源を切っても内容が消えません。本機では、システムのプログラムを書き込んでいます。

印字保証メモリ

スーパーファイン (1200dpi) やファインモード (600dpi) のプリント時に確保する描画メモリ容量です。印字保証メモリを確保しておくことで、入力データに依存せずに600dpiの処理が可能になります。また、スーパーファインやファインモードでプリント可能な用紙サイズを決定します。確保できる印字保証メモリは、取り付けられているプリンタ増設RAMモジュール (オプション) やシステムワークメモリ/受信バッファ/フォームキャッシュメモリの設定で変わります。

(→プリンタ機能ガイド)

(→プリンタ増設RAMモジュール (オプション)、システムワークメモリ、受信バッファ、フォームキャッシュメモリ)

エミュレーションモード

各メーカーのコンピュータ専用のシリアルプリンタをエミュレーション (模倣) して動作するモードです。本機は、N201 エミュレーションモード、ESC/P エミュレーションモードを内蔵しており、プリントデータに応じて自動的に切り替えてプリントします。(→「第2章 プリンタ機能の使いかた/動作モードについて」P.30)

オフライン

コンピュータと本機間の回線が切断され、コンピュータからのデータを受信できない状態をいいます。用紙の選択やメニュー機能を使うときは必ずオフラインの状態にします。オフライン状態では、プリンタユニット操作パネルのオンラインランプは消灯しています。

(→「第2章 プリンタ機能の使いかた/オンラインとオフライン」P.22)

オンライン

コンピュータと本機間の回線がつながって、コンピュータからのデータを受信できる状態をいいます。プリントは必ずオンラインの状態で行います。用紙の選択やメニュー機能は設定できません。オンライン状態では、プリンタユニット操作パネルのオンラインランプが点灯しています。

(→「第2章 プリンタ機能の使いかた/オンラインとオフライン」P.22)

オーバーレイ

2 ページ分のデータを重ね合わせて1 ページの書類としてプリントすることをいいます。本機には、オーバーレイ用のメモリ領域が用意されています。このメモリにあらかじめ重ね合わせてプリントしたいデータを登録しておくことで、プリント時に重ね合わせることができます。各種の帳票を多量にプリントするときなど、まず帳票のフォーマットデータを登録しておけば、後から数値などのデータを送るだけでスピーディーにプリントすることができます。

(→インストールガイド、プリンタ機能ガイド)

コントロールコマンド

ページにプリントする文字や罫線、網かけ、図形、イメージなどのデータ、および印字位置や印字方法など、どこに何をどのようにプリントするかをプリンタに指示するための命令です。本機は、キヤノン (株) の LIPS IV の他、シリアルプリンタ用の N201 エミュレーションモード、ESC/P エミュレーションモードのコントロールコマンドを内蔵しています。

(→エミュレーションモード)

(→「第2章 プリンタ機能の使いかた/動作モードについて」P.30)

システムワークメモリ

主に多角形描画などの図形処理のときにシステムが使用するメモリです。工場出荷時の状態では、搭載されているメモリ容量に応じて自動的に確保されます。メモリ容量が4MB（標準）で200KB、プリンタ増設RAMモジュール（オプション）を取り付けると最大1000KBまで確保できます。ただし、取り付けられているプリンタ増設RAMモジュール（オプション）や印字保証メモリ／受信バッファ／フォームキャッシュメモリの設定によって確保できる容量は変わります。

（→プリンタ増設RAMモジュール（オプション）、印字保証メモリ、受信バッファ、フォームキャッシュメモリ）

受信バッファ

コンピュータから送られたプリントデータを一時的に保存しておくためのメモリです。受信バッファのサイズを大きくすると、一度にたくさんのプリントデータを保存しておくことができるようになり、コンピュータ側で印刷処理から解放される時間が早くなります。工場出荷時の状態では64KBに設定されており、オプションのプリンタ増設RAMモジュール（オプション）を取り付けると、最大2048KBまで確保できます。ただし、取り付けられているプリンタ増設RAMモジュール（オプション）や印字保証メモリ／システムワークメモリ／フォームキャッシュメモリの設定によって確保できる容量は変わります。

（→プリンタ増設RAMモジュール（オプション）、印字保証メモリ、システムワークメモリ、フォームキャッシュメモリ）

ジョブ

コンピュータから送られるひとまとまりのプリントデータの処理のことをいいます。通常、コンピュータから送られるプリントデータには、開始と終了を表す命令（コマンド）がついており、この命令で他のジョブと区別します。

スーパースムージングテクノロジー

文字や図形の輪郭部のギザギザを自動的に検知してスムージング処理を行うイメージ処理技術です。本機のレーザービームの走査線密度はクイックモードで300dpi、ファインモードで600dpiですが、スーパースムージングテクノロジーで、クイックモード時1200dpi相当×600dpi、ファインモード時2400dpi相当×600dpiの高品位印字を実現しています。

スーパーファインモード

画像データや写真イメージデータを高品位なデータ処理解像度1200dpiで出力するモードです。

スケーラブルフォント

文字を外郭の曲線や直線を数式で記録し、数値を変えることで文字を拡大・縮小したり変形できるタイプのフォントです。輪郭線で文字を表すため、拡大しても曲線部分がギザギザになりません。本機では、明朝体と角ゴシック体、丸ゴシック体、ラインプリンタボード、およびGarland、Courier、Dutch、Swiss、Symbolなどの欧文書体のスケーラブルフォントが使えます。

セントロニクス

コンピュータと周辺機器を接続するパラレルインタフェースの代表的な規格です。コンピュータで扱っている16ビットや32ビットのデータを、8本の線を使い、8ビットずつ同時に伝送します。シリアルインタフェースに比べて高速なデータ伝送が可能です。ケーブル長の限界が3m程度に制限されます。現在では、ほとんどのパソコンでプリンタケーブルの規格として採用されています。

本機では、接続しているコンピュータからプリンタの設定や状態の管理ができる、IEEE1284対応の双方向通信が可能な方式を採用しています。

(→パラレルインタフェース)

(→「第1章 お使いになる前に／パソコンと接続する」P.12)

動作モード

本機が動作している状態をいいます。本書では、どのコントロールコマンドに対応できる状態になっているかで、LIPSモードやN201エミュレーションモード、ESC/Pエミュレーションモードなどと呼びます。本機は、標準でLIPSモード、N201エミュレーションモード、ESC/Pエミュレーションモードの3つの動作モードを自動切り替えで使用することができます。

(→「第2章 プリンタ機能の使いかた／動作モードについて」P.30)

(→エミュレーションモード)

パラレルインタフェース

コンピュータと周辺機器との間のデータ伝送方式（インタフェース）のひとつです。コンピュータで扱っている16ビットや32ビットのデータを、複数の線を使って数ビットずつまとめて（パラレルで）伝送します。データをまとめて送るため高速伝送が可能です。ケーブルの線数を多く必要とし、線間の干渉などによる信号ロスも多いため、ケーブルの長さには制限があります。パラレルインタフェースの代表的なもののひとつが「セントロニクス」です。パラレルインタフェースに対して、1本の線でデータを1ビットずつ伝送するシリアルインタフェースがあります。

(→セントロニクス)

(→「第1章 お使いになる前に／パソコンと接続する」P.12)

ビットマップフォント

1つの文字を点の集合で表したフォントのことです。ビットマップフォントは拡大率（文字サイズ）に応じてパターンが必要で、拡大率に制限があります。グラフィックセット、文字ピッチ、文字サイズ、文字スタイル、文字太さ、書体（これらを属性と呼ぶ）の組み合わせ方によっていろいろなフォントになります。

ファインモード

画像データや写真イメージデータを高品位なデータ処理解像度600dpiで出力するモードです。

フォームキャッシュメモリ

オーバーレイに使用するフォーム画像を保持するためのメモリ領域です。プリンタ増設RAMモジュール（オプション）を取り付けることにより、最大28MBまで確保できます。ただし、取り付けられているプリンタ増設RAMモジュール（オプション）や印字保証メモリ／受信バッファ／システムワークメモリの設定によって確保できる容量は変わります。

(→オーバーレイ、プリンタ増設RAMモジュール（オプション）、印字保証メモリ、受信バッファ、システムワークメモリ)

フォント

印字する文字や数字やシンボルの集合のことをフォントと呼びます。1つのフォントでは文字やシンボルは同じデザインとなっていますが、フォントごとに文字のデザインが異なり、このデザインのことを書体と呼びます。和文フォントには明朝体やゴシック体、欧文フォントにはDutch、Courierなどの種類があります。また、文字を表すデータの違いでビットマップフォントとスケーラブルフォントがあります。

本機は、明朝体と角ゴシック体、丸ゴシック体、ラインプリンタボールド、Garland、Courier、Dutch、Swiss、Symbolのスケーラブルフォントを標準で内蔵しています。

(→ビットマップフォント、スケーラブルフォント)

プリンタ増設RAMモジュール

PCプリンタユニットのメモリを増設するためのオプションです。最大32MB分まで増設でき、標準で4MBのメモリを最大36MBまで拡張できます。プリンタ増設RAMモジュールを装着すると、システムワークメモリや受信バッファ、印字保証メモリ容量を増し、ファインモードや可能な用紙サイズを拡大します。

(→「付録/オプションについて/プリンタ増設RAMモジュール」P.70)

(→システムワークメモリ、受信バッファ、印字保証メモリ)

プリンタドライバ

アプリケーションソフトで作成したデータをプリンタが受け付けるデータに変換するためのソフトウェアです。通常、アプリケーションソフトにプリンタの種類毎にファイルで用意され、接続したプリンタに合わせてアプリケーションソフトに組込んで使用します。お使いのプリンタに対応したプリンタドライバがないと、アプリケーションソフトから正しくプリントできません。本機には、Windows用プリンタドライバ(LIPS IV)が付属しており、単にデータの変換だけでなく、プリンタの各種機能の設定ができます。

(→インストールガイド)

メニュー機能

本機の動作モードや各種機能を設定するための機能です。プリンタユニット操作パネルのボタンやユーティリティソフト「NetSpot」から設定できます。

(→インストールガイド、プリンタ機能ガイド)

優先動作モード

動作モードの自動切り替え時に、受信したデータの解析ができなかったときに優先的に選択される動作モードです。本機の工場出荷時の設定はN201エミュレーションモードになっています。LIPS、またはESC/Pエミュレーションモードに変更できます。

(→動作モード)

索引

英数字

A3 フルブリード紙	39
DOS パソコン	12, 19
ESC/P エミュレーションモード	30
ESC/P のページフォーマット設定	33
LAN プリンタユニット	13, 70
LIPS モード	30
N201 エミュレーションモード	30, 32
N201 のページフォーマット設定	32
NetSpot	18, 25
PC-9800 シリーズ	30
Print BuddyII	18
Windows パソコン	12, 18

ア行

印刷可ランプ	9
印字品質のトラブル	62
インストール	18
エミュレーションモード	32
エラースキップ	51
エラーメッセージ	51
オプション品	70
オンライン	22
[オンライン] ボタン	8

カ行

解像度	27
紙つまり	44
[給紙選択] ボタン	9
給紙元	34
を選択する	35
給紙元表示ランプ	9
クイックモード	27

ク行

再起動	49
ジョブランプ	9
スーパーファインモード	27
設定の優先順位	25
[セットアップ] (>) ボタン	10
セントロニクス	12

操作パネルのトラブル	61
ソフトウェア	18
ソフトリセット	47

シ行

データ排出	46
ディスプレイ	9
テストプリント	16
動作のトラブル	61
動作モード	30
[動作モード] (入) ボタン	10
動作を確認する	16
トラブル	61
トラブル解決マップ	42
トラブルシューティング	42

ス行

ネットワーク	13
--------	----

ハ行

ハードリセット	48
[排出] ボタン	9
ハガキ	
印字範囲	39
パラレルインタフェースコネクタ	12
パラレルインタフェース仕様	72
ファインモード	27
封筒	
印字範囲	39
フォントのトラブル	63
プリンタ	
の仕様	71
プリンタ増設RAM モジュール	70
プリンタドライバ	18, 25
プリンタ機能	24
プリンタリスタート	49
[プリンタリスタート] ボタン	11
プリントモード	27
を設定する	28
プリントを中止する	46

マ行

メッセージランプ 9

ヤ行

ユーティリティソフト 18, 25

[ユーティリティ] (<) ボタン 10

用紙送りのトラブル 62

ラ行

[リセット/実行] (V) ボタン 10

レジャーフルブリード紙 39

商標について

LASER SHOT はキャノン(株)の登録商標です。

LIPS, Print BuddyII, MaxiMem, NetSpot はキャノン(株)の商標です。

TrueType は米国アップルコンピュータ社の商標です。

Microsoft, MS-DOS, Windows, WindowsNT は米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標です。

PC-9800 シリーズ, N5200 シリーズ, PC-PR201/80A は日本電気(株)の商標です。

IBM は米国 IBM 社の商標です。

ESC/P, ESC/P-J84 はセイコーエプソン(株)の商標です。

Ethernet は富士ゼロックス(株)の商標です。

HP, HP-GL はヒューレットパッカード社の商標です。

NetWare は、米国ノベル社の登録商標です。

下記の書体は、キャノン(株)が米国ビットストリーム社よりライセンスを受けています。

Swiss 721, Roman Swiss 721 Oblique, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Dutch 801

Roman, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Symbol

Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text,

Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text,

Century 702, Century Schoolbook Roman, Century 702, Century Schoolbook Italic,

Century 702, Century Schoolbook Bold, Century 702, Century Schoolbook Bold Italic,

Swiss 721 Narrow, Swiss 721 Narrow Oblique, Swiss 721 Narrow Bold, Swiss 721 Narrow Bold Oblique

Zapf Calligraphic 801, Zapf Calligraphic 801 Italic, Zapf Calligraphic 801 Bold, Zapf Calligraphic 801 Bold Italic,

Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book

Oblique, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic

Demi Oblique, Revival 711 ITC Bookman Light, Revival 711 ITC Bookman Light Italic, Revival

711 ITC Bookman Demi, Revival 711 ITC Bookman Demi Italic, Chancery 801 ITC Zapf

Chancery Medium Italic, ITC Zapf Dingbats

下記の書体名は米国インタナショナルタイプフェイス社の商標です。

ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, ITC Zapf Chancery, ITC Zapf Dingbats

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

注意

本製品は、外国為替および外国簡易管理法が定める規制貨物に該当いたします。
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.



この取扱説明書は、
エコマーク認定の
再生紙を使用して
います。

使い方等でご不明の点がございましたら、当社のサービス取扱所にご連絡ください。



NTT

NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE
CORPORATION

FA7-1822-010

日本電信電話株式会社

〒163-8019 東京都新宿区西新宿3-19-2

本1864-1(98.9)